

平成24年度

国土交通省関係予算概算要求概要

（中国地方整備局関連）

平成23年9月

中国地方整備局

目 次

1. 基本的考え方	1
2. 平成 24 年度 主な完成予定事業一覧	2
3. 中国地方整備局の主な取り組み	3
4. 主要事業箇所(一覧)	(別添)

平成24年度 国土交通省関係予算概算要求に係る

中国地方整備局の事業概要について

1. 基本的考え方

国土交通省においては、東日本大震災の発生を踏まえ、被災地の復興等を強力に推進するとともに、全国における災害に強い社会基盤整備をはじめとする国民生活の安全・安心の確保に向けた取組を緊急に進めていく。また、持続可能な低炭素・循環型社会の構築、成長戦略の推進、地域活性化等のための基盤整備といった分野に重点を置いて、「選択と集中」を徹底し、メリハリのある要求を行うこととしています。

中国地方整備局においては上記方針に基づき、平成21年8月に公表した「中国圏広域地方計画」における中国地方の将来像である、

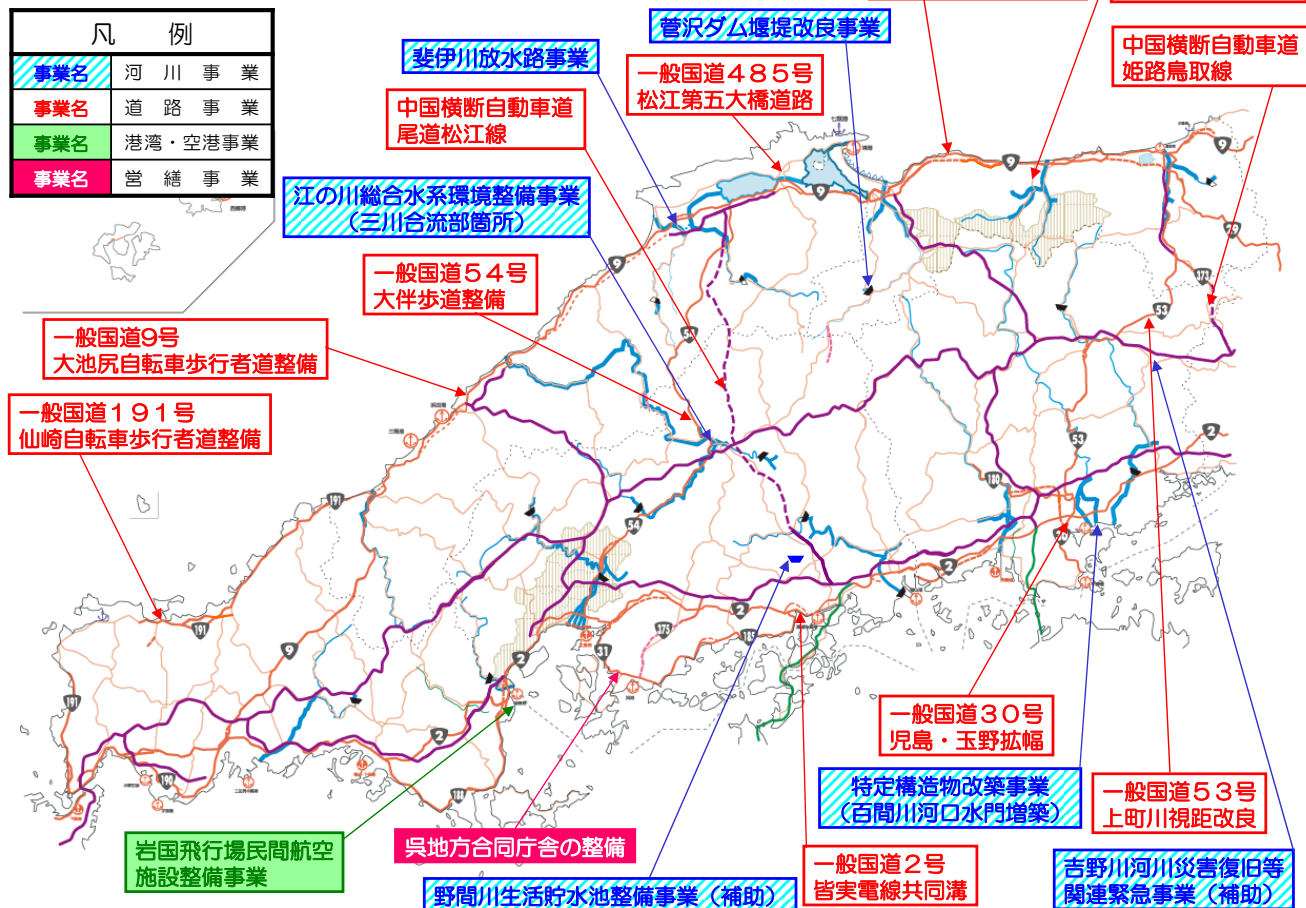
- ① 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏
- ② 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏
- ③ 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

の実現に向けて、同時期に策定した中国地方の社会資本整備の具体的な方針を示す「みらいビジョン中国21“2009”」において下記の具体的な地域整備の目標を掲げ、限られた予算で最大限の効果の発現を図ることとしています。

■「みらいビジョン中国21“2009”」における地域整備目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">I. 競争力のある地域経済社会の再構築II. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくりIII. 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造IV. 交流・連携による一体的で活力のある地域づくりV. 横断的な取組 |
|---|

2. 平成24年度 主な完成予定事業一覧



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度	番号
鳥取県					
菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		H24完成予定	河-1
一般国道9号 塩津地区交差点改良	道路	直轄		H24完成予定	道-3
一般国道313号 倉吉道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-4
島根県					
斐伊川放水路事業	河川	直轄		H24完成予定	河-5
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24完成予定(部分)	道-5
一般国道9号 大池尻自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-8
一般国道485号 松江第五大橋道路	道路	補助	島根県	H24完成予定	道-9
岡山県					
特定構造物改築事業 (百間川河口水門増築)	河川	直轄		H24完成予定	河-8
吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	H24完成予定	河-12
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-10
一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-12
一般国道53号 上町川視距改良	道路	直轄		H24完成予定	道-13
広島県					
江の川総合水系環境整備事業 (三川合流部箇所)	河川	直轄		H24完成予定	河-15
野間川生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	H24完成予定	河-16
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24完成予定(部分)	道-5
一般国道54号 大伴歩道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-17
一般国道2号 皆実電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-18
呉地方合同庁舎の整備	営繕	直轄		H24完成予定	営-1
山口県					
一般国道191号 仙崎自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-21
岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		H24完成予定	港-11

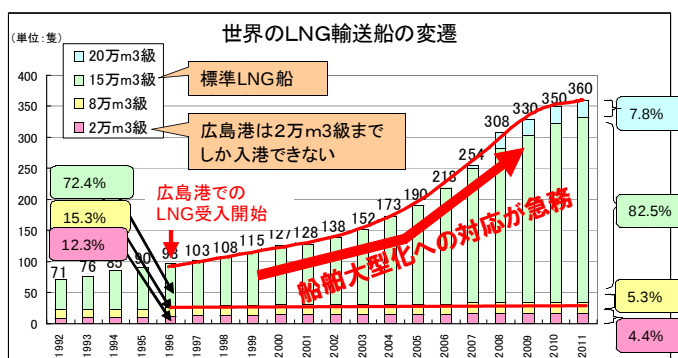
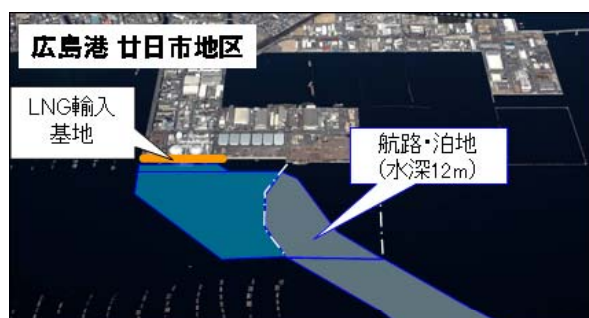
3. 中国地方整備局の主な取り組み

I. 競争力のある地域経済社会の再構築

I-1. 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

① 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

○臨海部を中心に立地する企業の生産活動に不可欠な国際物流の効率化や、生産活動に必要なエネルギーの安定的かつ安価な供給を図るため、輸送ネットワークの拠点となる港湾において、船舶の大型化等に対応した機能強化を進め、経済社会の発展に貢献します。



ひろしま
広島港航路・泊地整備事業（広島県）【新規着手】

さかい
境港国際物流ターミナル整備事業（鳥取県）【新規着手】

とくやまくだまつ
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業（山口県）

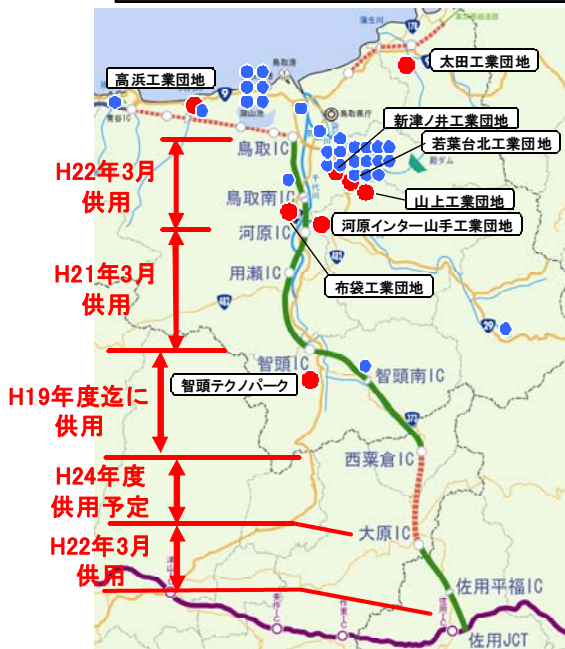
う べ
宇部港航路・泊地整備事業（山口県） 等

I-2. 国内交通ネットワークの強化

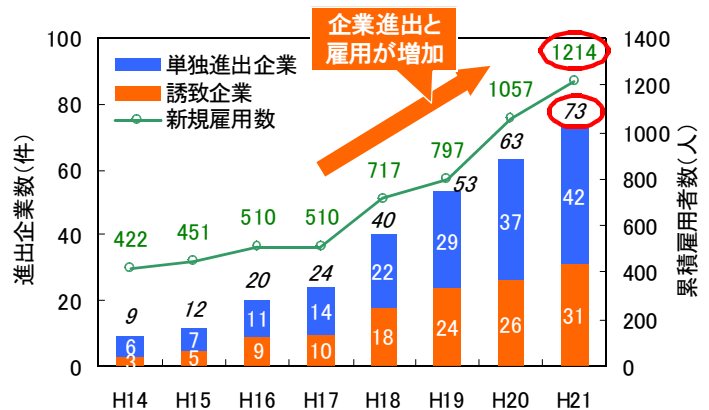
① 高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興

- 高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備を進め、国内交通ネットワークを強化します。

鳥取県東部の主な誘致企業位置図
(H14-21)



鳥取県東部の企業進出状況
(H14以降累積)



単独進出企業：誘致企業以外の新規企業進出及び工場増設を行った企業数

誘致企業：行政が誘致した企業数

資料／鳥取県商工労働部、鳥取市経済観光部からの聞き取りにより鳥取河川国道事務所まとめ

中国横断自動車道姫路鳥取線(鳥取県・岡山県)

とっとりにし 鳥取西道路(鳥取県) 等

- 臨海部における安全かつ効率的な港湾物流を確保するため、臨港道路の整備を進め、地域の経済活動を支えます。



みずしま 水島港国際物流ターミナル [耐震]・臨港道路整備事業(岡山県) 等

I－3．都市機能の強化

①都市内の渋滞対策による交通の円滑化

- 交通容量拡大策やTDM（交通需要マネジメント）施策等の都市内の渋滞対策を総合的に実施し、交通の円滑化及び物流の効率化を図ります。

一般国道2号 ひろしまみなみ 広島南道路(広島県) 等

Ⅱ. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

Ⅱ－１．災害の防止・軽減

①洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止

○国民の生活の安全安心を確保するため、災害危険度の高い地域における効果的な災害予防対策を実施するとともに、災害が発生した地域における再度災害の防止対策を実施します。

また、今後発生すると想定されている東南海・南海地震等の大規模地震に対してＬ２地震動に対する耐震性能照査を実施し、照査結果を踏まえて耐震対策が必要となった区間において、高潮堤防の整備に合わせ耐震対策を推進します。

斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）（鳥取県・島根県）

斐伊川水系治水事業（大橋川改修）（島根県）

斐伊川放水路事業（島根県）

吉井川・旭川・高梁川直轄河川改修事業（高潮・耐震対策）（岡山県）

旭川総合内水緊急対策事業（岡山県）

広島市街地の高潮対策事業（広島県）

防府山系直轄特定緊急砂防事業（山口） 等

○高潮や、大規模地震後の液状化及び津波による浸水被害の軽減を図るため、海岸堤防等の整備を推進します。



ひろしま
広島市街地の高潮対策事業（広島県） 等

②災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止

- 大規模地震の発生時において、緊急物資の輸送や避難経路の確保を図るとともに、産業活動への影響を最小限に抑えるため、耐震強化岸壁の整備を進め、地域の安全・安心を確保します。また、リダンダンシーの確保を通じ、粘り強い国土軸の形成に貢献します。

ひろしま

水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業（岡山県）（再掲） 等

- 安全、安心の確保に資するため、大規模地震発生時に防災拠点としての機能を十分に発揮できるよう、災害応急対策活動に必要な官庁施設等について耐震化を推進します。

II－2. 地域防災力や危機管理体制の強化

①災害・防災情報の提供や共有化等の充実による地域防災力の向上と危機管理体制の強化

○機動性の高い危機管理体制の確立

- ・大規模自然災害における被災状況の迅速な把握や被災地の早期復旧を目的として、平成20年に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を発足し、計画的な訓練や装備の充実を図っています。



排水ポンプ車設置訓練状況(平成23年6月)

TEC-FORCE研修(被災状況調査班)



班別討議の発表状況(平成22年8月)

TEC-FORCE隊員セミナー(班長クラス)

- ・あわせて災害対策用機械については、近年の集中豪雨等による災害の増加に鑑み、排水ポンプ車や照明車等機動性のある車両を導入するなど、広域的な災害対策の充実を図っています。
- ・平成23年3月11日の東日本大震災においては、翌日から先遣隊をはじめとするTEC-FORCE隊員を延べ1,155名、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車等を迅速に派遣し、津波により冠水した地域の排水や通信回線の確保など、様々な技術支援を実施しました。また、同年9月の台風12号・15号による紀伊半島での土砂災害等においても、衛星通信車、TEC-FORCE隊員を派遣し、河道閉塞の監視、災害箇所の被災状況調査・災害復旧などの技術支援を実施しております。(9月7日から、555名のTEC-FORCE隊員を派遣(9月26日時点))



排水ポンプ車・照明車の活動状況

<平成23年3月の東日本大震災：宮城県石巻市北上町>



衛星通信車による土砂災害箇所監視状況

<平成23年9月の台風12号：奈良県十津川村>

- ・平成23年度も、排水ポンプ車、照明車などの災害対策用機械を計画的に増強配備し、迅速かつ広域的な災害対応の充実を図ります。

○関係機関との連携強化

- ・災害時の初動対応や社会資本設備の復旧を円滑かつ迅速に行うため、中国地方整備局と管内の関係自治体との間で、平成22年には県知事等と「災害時における相互協力に関する基本協定書」、平成23年には、市町村長と「災害時における情報交換に関する協定書」を締結するなど連携強化を推進しています。

こうした協定締結に基づき、平時は連絡調整・訓練等、災害時には、県や自治体からの要請や中国地方整備局の判断で情報収集や支援に向かえるようにするなど、迅速かつ円滑な災害対応を行えるよう推進していきます。

○業務継続計画の策定による危機管理体制の強化

- ・大規模地震等の危機的事象が発生し、リソース（人、モノ、情報）が不足した場合においても災害対策業務などの社会活動に重大な影響を及ぼす重要な業務については、発災直後でも高いレベルで業務を行うことが必要です。そこで、「業務継続計画」を本局及び管内の全事務所で策定し、適宜見直しを行い、危機管理体制の強化を図っています。

さらに、災害発生時に行政が策定している業務継続計画を実効性のあるものにしていくためには、ライフラインやインフラの緊急復旧に従事していただく地域建設業の各企業が業務継続計画（BCP）を策定することが重要です。そこで、地域建設業の各企業においても業務継続計画の策定に取り組んで頂くための施策を推進します。

II-3. 安定的な水資源の確保

①水資源の確保による暮らしや産業活動を支える水の安定供給

- 新規施設の整備により水資源の確保を推進し、暮らしや産業活動を支える水の安定供給を図ります。

のまがわ
野間川生活貯水池整備事業（広島県） 等

II－4．陸上及び海上における交通安全の向上

①陸上及び海上における交通安全の向上

- 道路交通システムの構築や交通安全対策事業を進め、公共空間における移動の円滑化を図ります。

一般国道191号 ^{せんざき}仙崎自転車歩行者道整備(山口県) 等

- 港湾における荷役効率の向上と、荒天時における船舶の避難水域の確保を図るため、防波堤の整備を進め、安全かつ安定した港湾の利用を実現します。

^{はまた}浜田港防波堤整備事業(島根県) 等

Ⅲ. 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

Ⅲ－１. 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

①瀬戸内海等への環境負荷低減等による美しく豊かな自然環境や景観等の実現

- 閉鎖的水域である湖等において、水質浄化の取り組みを推進します。
また、河川区域において流水の維持や水質浄化の取り組みを推進します。

ひいかわ
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）（鳥取県・島根県） 等

- 河川や海岸において、生物の多様性や、水辺の楽校などで自然とのふれあいの場を確保し、良好な水辺、沿岸域の環境を創出します。

よしいがわ
吉井川総合水系環境整備事業（吉井川自然再生）（岡山県） 等

- 関係省庁や自治体などが連携して、恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」の保全・再生を推進します。

ひろしま
広島湾再生プロジェクト

②瀬戸内海をはじめとする自然・歴史・文化等の地域資源を活用した地域づくり

- 地域の景観、歴史、文化及び観光という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携のもとで良好なまち空間と水辺空間形成を目指します。

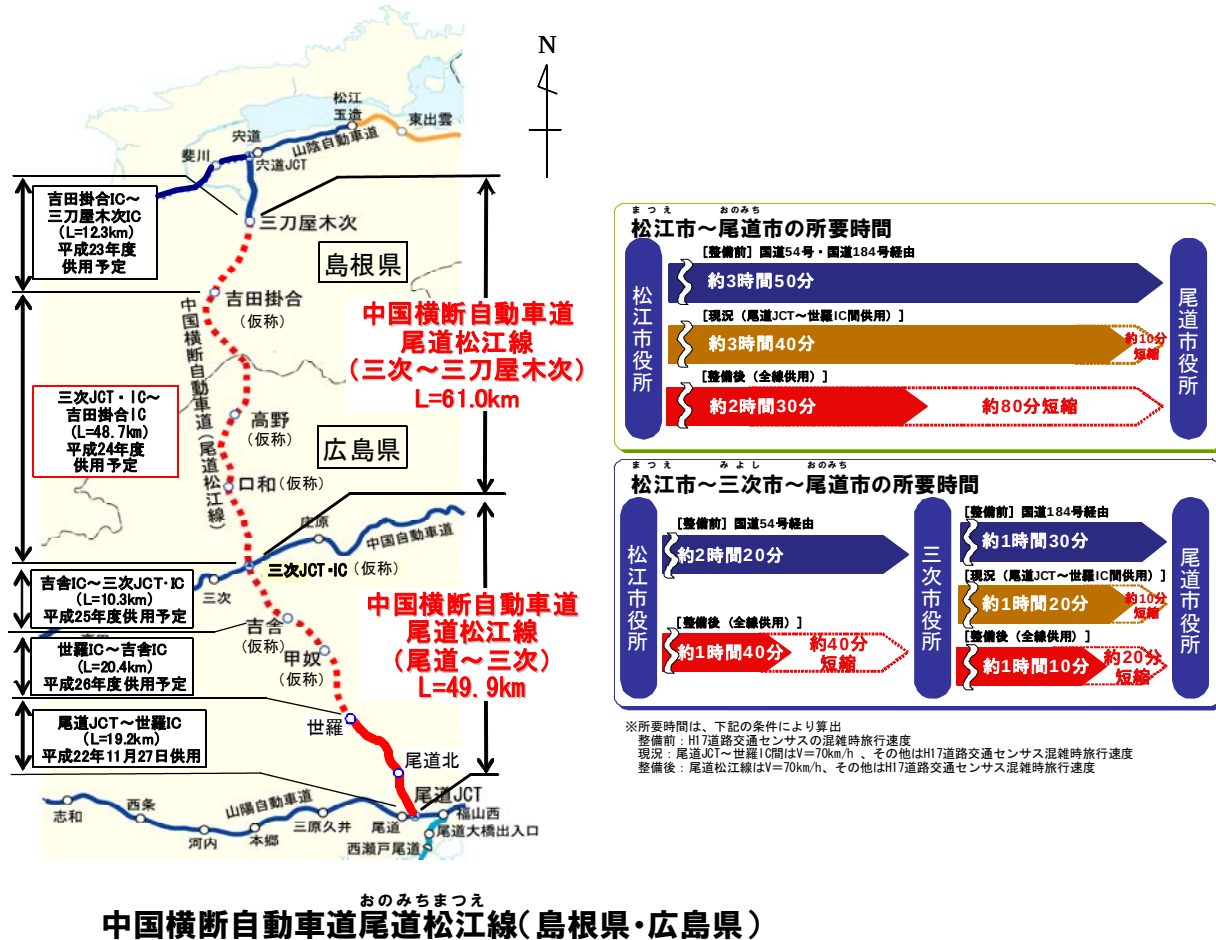
ごう かわ
江の川総合水系環境整備事業（三川合流部箇所）（広島県） 等

Ⅳ. 交流・連携による一体化で活力のある地域づくり

Ⅳ－１. 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

①山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化

○山陰と山陽、分散した都市間を結ぶ道路の整備等によるブロック内外の連携強化を図り、活力ある地域社会を構築します。



一般国道2号 玉島・笠岡道路(岡山県) 等

②都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大

○幹線道路等の交通基盤や物資の輸送のための基盤づくりを推進し、都市と中山間地域等の多様な交流拡大を図ります。

一般国道313号 倉吉道路、倉吉関金道路(鳥取県) 等

IV－2．広域観光の促進

①空港や港湾などの国際交流拠点機能の強化による広域観光の促進

- 岩国飛行場において、民間航空の再開に必要となる施設の整備を進め、首都圏との間の航空ネットワークの強化を図ります。

いわくに

岩国飛行場民間航空施設整備事業（山口県）

②観光地が連携した観光圏の形成による広域観光の促進

- 観光地が広域的に連携した「観光圏」の形成し、魅力ある観光地域づくりの推進のために必要とされる社会資本整備が促進されるように配慮していきます。

現在、中国地方整備局管内では観光圏として、鳥取・島根両県をまたぐ「山陰文化観光圏」と広島、宮島、岩国が連携した「広島・宮島・岩国地域観光圏」及び尾道市、今治市、上島町が連携した「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定されています。

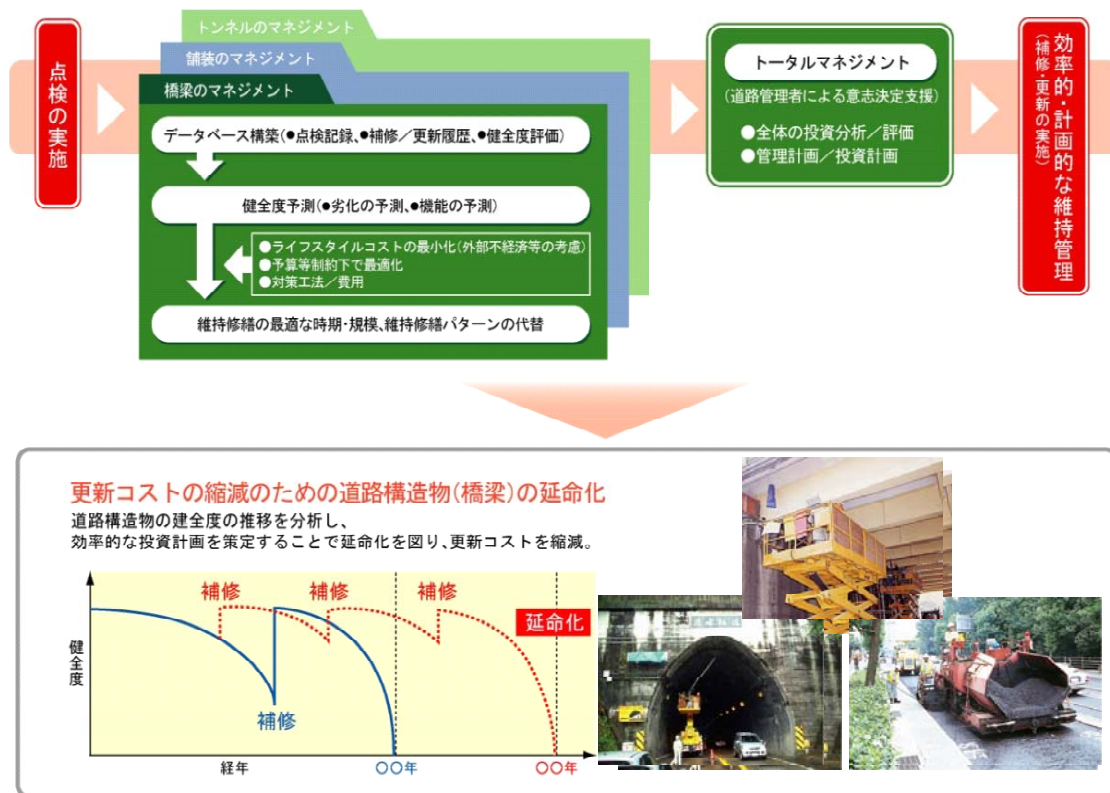
しまなみ、山陰、広島地域の観光圏

V. 横断的な取組

V-1. 社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

① 様々な主体との協働や戦略的な維持管理・更新等による社会資本の有効活用

○ 構造物の健全度予測・点検を行い、維持修繕の最適な時期・規模など効率的な投資計画に応じて、計画的な維持管理を行っていきます。



○ 更新期を迎える施設の増大が見込まれる中、ライフサイクルコスト縮減の観点から効率的な維持管理に取り組む。

すげさわ えんてい
菅沢ダム堰堤改良事業(鳥取県) 等

②産学官の技術連携の支援

○中国地方7大学との「包括的連携・協力に関する協定締結」

- ・中国地方の7大学の大学長と中国地方整備局長が協定書を締結し、連携・協力の強化を図り、地域社会の発展に寄与します。



▲ 意見交換開催状況（広島大学）



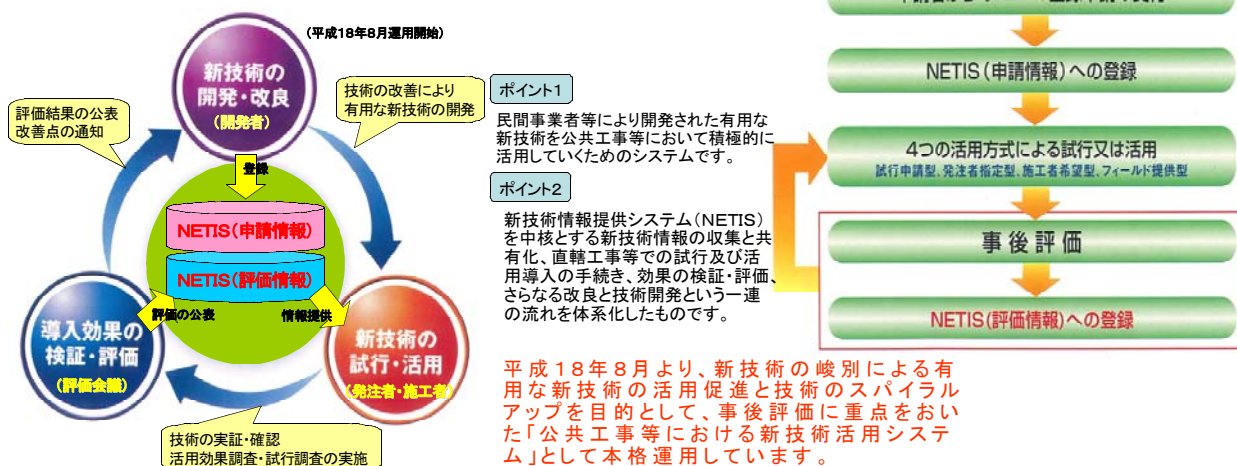
▲ 意見交換開催状況（山口大学）

③新技術・新工法の活用

○新技術・新工法活用の支援体制づくりを支援

- ・成長が期待される情報通信、医療、福祉、環境、バイオテクノロジー（生物工学）等の産業関連分野の育成やその技術を国土管理に活用するための産学官の連携を強化し、新たな産業拠点の整備を基盤整備等により積極的に支援します。

【公共工事等における新技術活用システム】

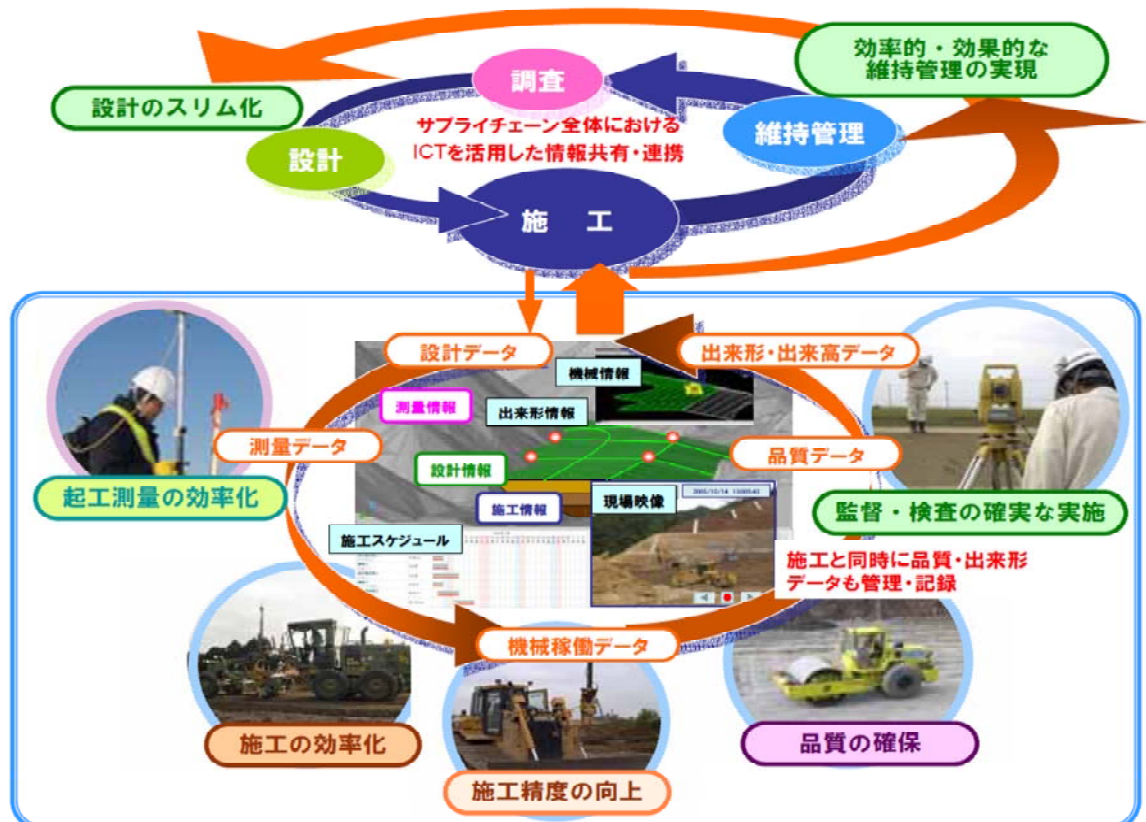


④情報化施工の推進

- ・ 情報化施工技術は、ICT（情報通信技術）を工事の施工等に活用し、従来の施工技術と比べ、高い生産性と施工品質を実現する施工システムです。
情報化施工に関する試験施工の実績や技術の普及状況等を踏まえ、既に技術的に確立した情報化施工技術については、平成25年度の一般化に向け積極的な普及推進を行います。

トータルステーションによる出来型管理技術

マシンコントロール（モーターグレーダー）技術



V-2. 良好な社会資本整備に向けた取り組み

①公共工事の品質確保の促進

○総合評価方式の透明性・公平性の確保

- ・ より公平な技術評価方法への改善を進めるとともに、提案者に対する評価結果の通知や問い合わせ窓口の設置等、技術評価に関する更なる透明性・公平性の確保に努めます。

○多様な発注方式の導入・普及

- ・ 受発注者の事務効率化のため、競争参加者が多い工事を対象とした「段階選抜方式」や専門工事業者（下請け）の施工能力等も評価する「特定専門工事審査型」及び現場従事技術者（登録基幹技能者等）の配置状況を評価する「現場従事技術者評価型」等、多様な発注方式の試行工事を積極的に実施し、その導入・普及に努めます。

○三者会議、ワンデーレスポンス、設計変更審査会の実施

- ・工事の効率化を図るため、工事施工中の問題認識の明確化や受発注者間の情報を共有し、受発注者間の協議等を迅速に実施するため、三者会議、ワンデーレスポンス、設計変更審査会の活用を図っていきます。

②調査・設計の品質確保の推進

○透明性・公平性の確保

- ・調査・設計業務等の入札契約は『建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン』を基本とし、更なる競争性・透明性の確保並びに公平な技術力の評価に努めます。

○低入札対策の拡充

- ・総合評価方式における技術提案の履行確実性評価、管理技術者等の手持ち業務量の制限、第三者照査の義務付け等、低入札防止及び品質確保対策の拡充を引き続き図っていきます。

○その他の取組み

- ・合同現地踏査、業務スケジュール管理、ワンデーレスポンス（業務版）を推進し受発注者の協働体制を構築していくと共に、適正納期の確保及び履行期限の平準化を図り業務実施に必要な体制を確保する環境整備に努めます。

③自治体等への取組み

○中国ブロック発注者協議会

- ・「中国ブロック発注者協議会」(平成20年設立)により、中国地方の全ての公共工事発注機関において、総合評価方式の導入拡大、品質確保に関する取組の情報共有・促進等を図っていきます。



▲ 中国ブロック発注者協議会第6回幹事会

(平成23年7月13日)

④地域社会の維持

○地域建設業の競争参加機会の確保

- ・地元建設業者におかれましては、昨今の大型台風による災害対応に加え、東日本大震災でも数々の支援活動等を中国地方の建設業者が実施する等、地域建設企業の果たす役割の大きさを再認識したところです。
- ・このため、中国地方整備局としては、地元本店限定工事や地元企業活用型総合評価方式の拡大に引き続き取り組み、競争参加機会の確保を図ることとしています。

⑤その他

○広域地方計画の推進について

- ・平成21年8月に策定された「中国圏広域地方計画」に示された各プロジェクトの、推進状況の結果や基礎的指標の分析・評価、将来像の達成状況において、定性的評価や定量的評価を踏まえ総合的に当該計画を評価し、計画の推進を図ります。

中国圏広域地方計画ホームページ

http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/kokudo_keisei/index.htm

主要事業箇所一覧

	事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
I. 競争力のある地域経済社会の再構築						
(1) 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化						
	境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		新規着手	港-2
	水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
	広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		新規着手	港-5
	尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-7
	徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
	宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-10
(2) 国内交通ネットワークの強化						
	一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-1
	一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
	一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
	中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24,25,26完成予定	道-5
	一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25,26完成予定	道-6
	一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定(部分)	道-7
	中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-10
	一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定	道-16
	一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-20
	一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	—	道-22
	水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
	岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-9
(3) 都市機能の強化						
	一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-12
	一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-15
	一般国道188号 柳井バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-19
	一般国道485号 松江第五大橋道路	道路	補助	島根県	H24完成予定	道-9
II. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり						
(1) 災害の防止・軽減						
	皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-3
	斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）	河川	直轄		—	河-4
	斐伊川放水路事業	河川	直轄		H24完成予定	河-5
	斐伊川水系治水事業（大橋川改修）	河川	直轄		—	河-6
	吉井川・旭川・高梁川直轄河川改修事業（高潮・耐震対策）	河川	直轄		—	河-7
	特定構造物改築事業（百間川河口水門増築）	河川	直轄		H24完成予定	河-8
	旭川総合内水対策緊急事業（平井・中川町地区）	河川	直轄		—	河-9
	高梁川直轄河川改修事業（小田川付替事業）	河川	直轄		—	河-10
	吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	H24完成予定	河-12
	広島市街地の高潮対策事業	河川・海岸	直轄・補助	広島県・広島市	—	河-13 港-6
	太田川直轄河川改修事業（矢口地区内水対策）	河川	直轄		—	河-14
	広島西部山系直轄砂防事業	砂防	直轄		—	河-17
	広島県庄原地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	広島県	—	河-18
	厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-19
	防府山系直轄特定緊急砂防事業	砂防	直轄		—	河-20
	山口県県央部地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-21
	一般国道2号 皆実電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-18
	水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
	呉地方合同庁舎の整備	営繕	直轄		H24完成予定	営-1

II. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

(2) 地域防災力や危機管理体制の強化

—					
---	--	--	--	--	--

(3) 安定的な水資源の確保

野間川生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	H24完成予定	河-16
--------------	----	----	-----	---------	------

(4) 陸上及び海上における交通安全の向上

一般国道9号 塩津地区交差点改良	道路	直轄		H24完成予定	道-3
一般国道9号 大池尻自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-8
一般国道53号 上町川視距改良	道路	直轄		H24完成予定	道-13
一般国道54号 大伴歩道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-17
一般国道191号 仙崎自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-21
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄・補助	鳥取県	—	港-1
浜田港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-3

III. 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

(1) 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

斐伊川総合水系環境整備事業（中海・穴道湖）	河川	直轄		—	河-2
吉井川総合水系環境整備事業（吉井川自然再生）	河川	直轄		—	河-11
江の川総合水系環境整備事業（三川合流部箇所）	河川	直轄		H24完成予定	河-15
広島湾再生プロジェクト					他-11

IV. 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

(1) 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-1
一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24,25,26完成予定	道-5
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25,26完成予定	道-6
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定(部分)	道-7
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-10
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		H26完成予定	道-11
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定	道-16
一般国道313号 倉吉道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-4
一般国道313号 倉吉関金道路	道路	補助	鳥取県	—	道-4
主要地方道 佐伯長船線	道路	補助	岡山県・岡山市	—	道-14

(2) 広域観光の促進

岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		H24完成予定	港-11
-----------------	----	----	--	---------	------

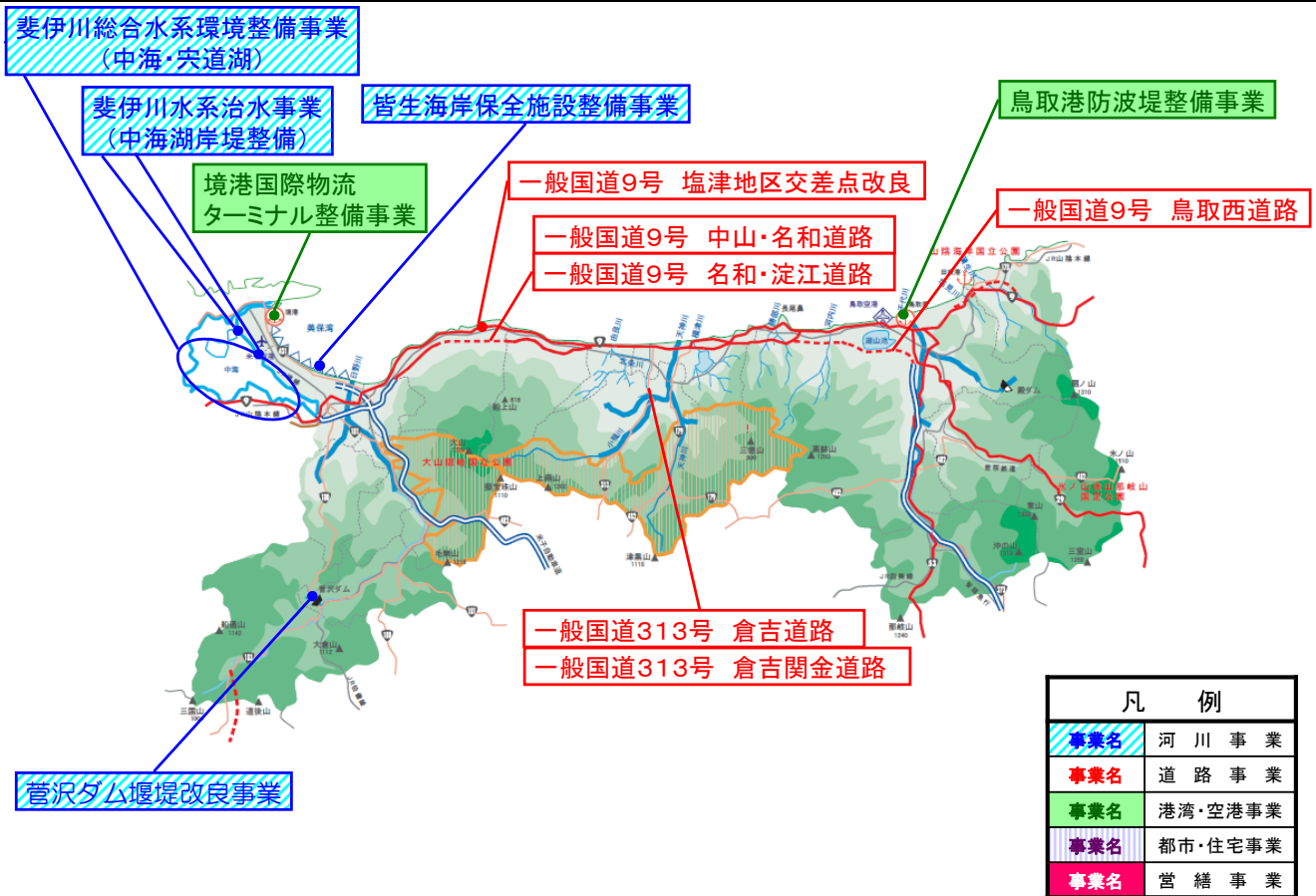
V. 横断的な取組

(1) 社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		H24完成予定	河-1
------------	----	----	--	---------	-----

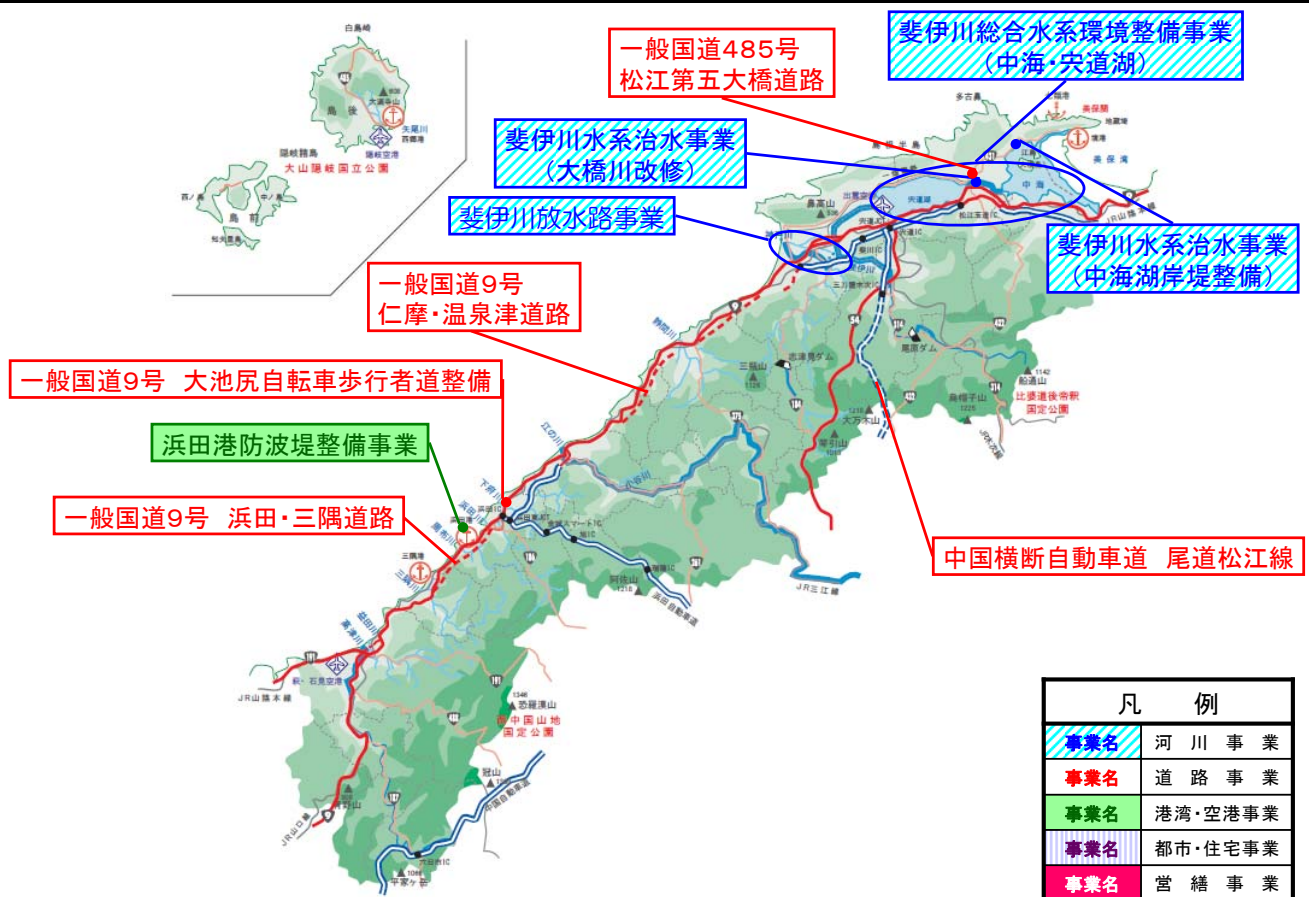
4.主要事業箇所

主要事業箇所【鳥取県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		H24完成予定	河-1
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・穴道湖）	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸保全施設整備事業	海岸	直轄		—	河-3
斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）	河川	直轄		—	河-4
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-1
一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	
一般国道9号 塩津地区交差点改良	道路	直轄		H24完成予定	道-3
一般国道313号 倉吉道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-4
一般国道313号 倉吉関金道路	道路	補助	鳥取県	—	
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		新規着手	港-2

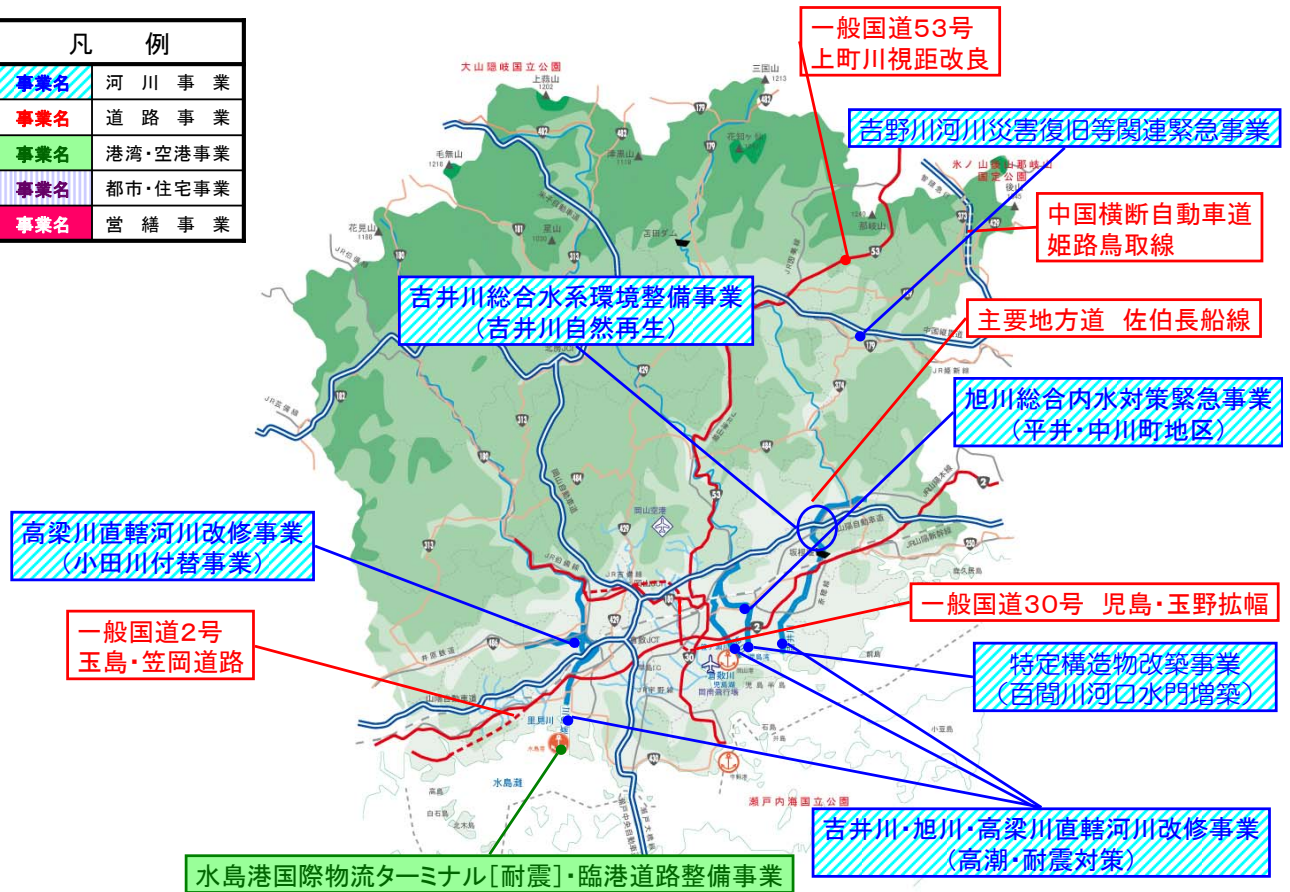
主要事業箇所【島根県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・穴道湖）	河川	直轄		—	河-2
斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）	河川	直轄		—	河-4
斐伊川放水路事業	河川	直轄		H24完成予定	河-5
斐伊川水系治水事業（大橋川改修）	河川	直轄		—	河-6
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24,H25,H26完成予定	道-5
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25,H26完成予定	道-6
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定(部分)	道-7
一般国道9号 大池尻自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-8
一般国道485号 松江第五大橋道路	道路	補助	島根県	H24完成予定	道-9
浜田港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-3

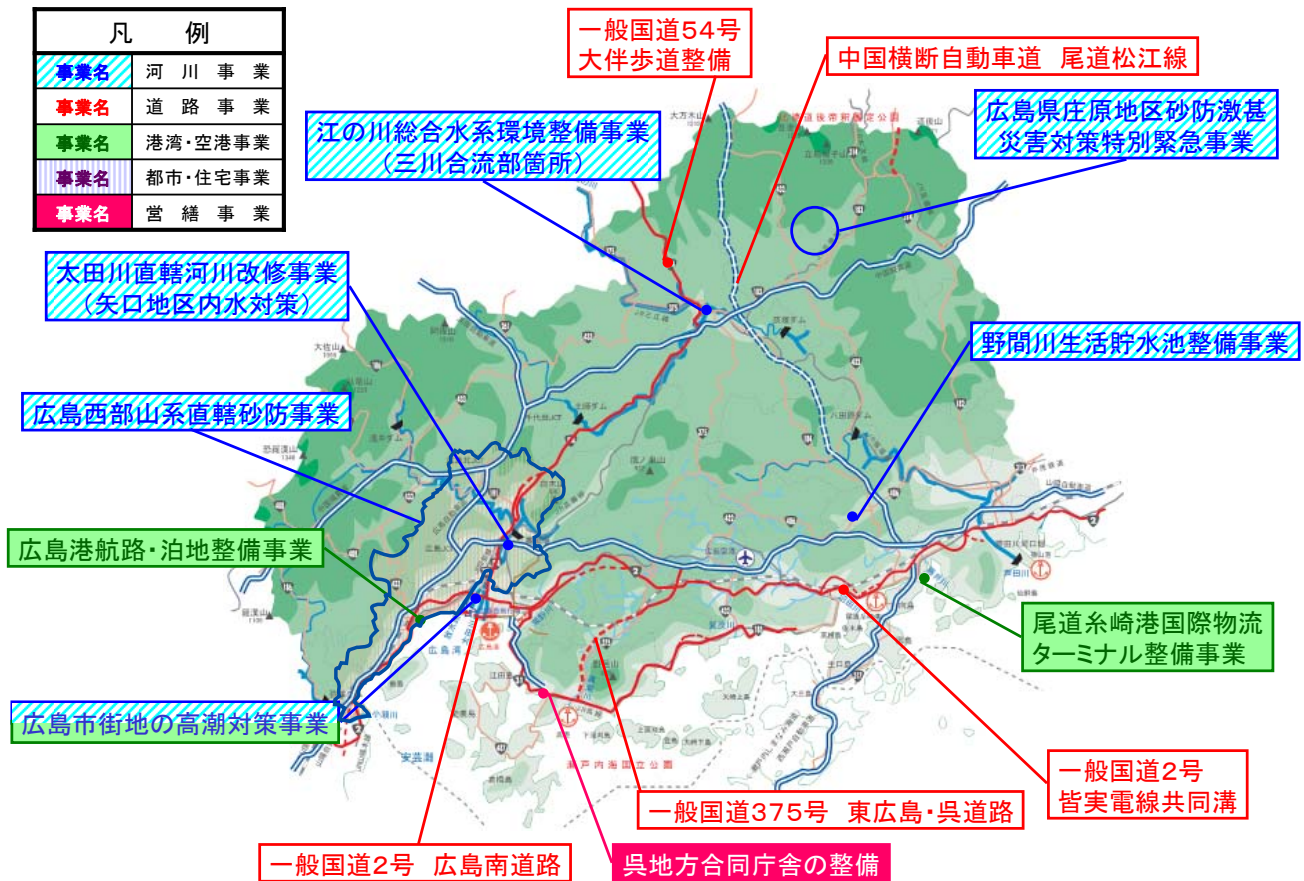
主要事業箇所【岡山県】

凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
吉井川・旭川・高梁川直轄河川改修事業 (高潮・耐震対策)	河川	直轄		—	河-7
特定構造物改築事業 (百間川河口水門増築)	河川	直轄		H24完成予定	河-8
旭川総合内水対策緊急事業 (平井・中川町地区)	河川	直轄		—	河-9
高梁川直轄河川改修事業 (小田川付替事業)	河川	直轄		—	河-10
吉井川総合水系環境整備事業 (吉井川自然再生)	河川	直轄		—	河-11
吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	H24完成予定	河-12
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-10
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		H26完成予定	道-11
一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-12
一般国道53号 上町川視距改良	道路	直轄		H24完成予定	道-13
主要地方道 佐伯長船線	道路	補助	岡山県・岡山市	—	道-14
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4

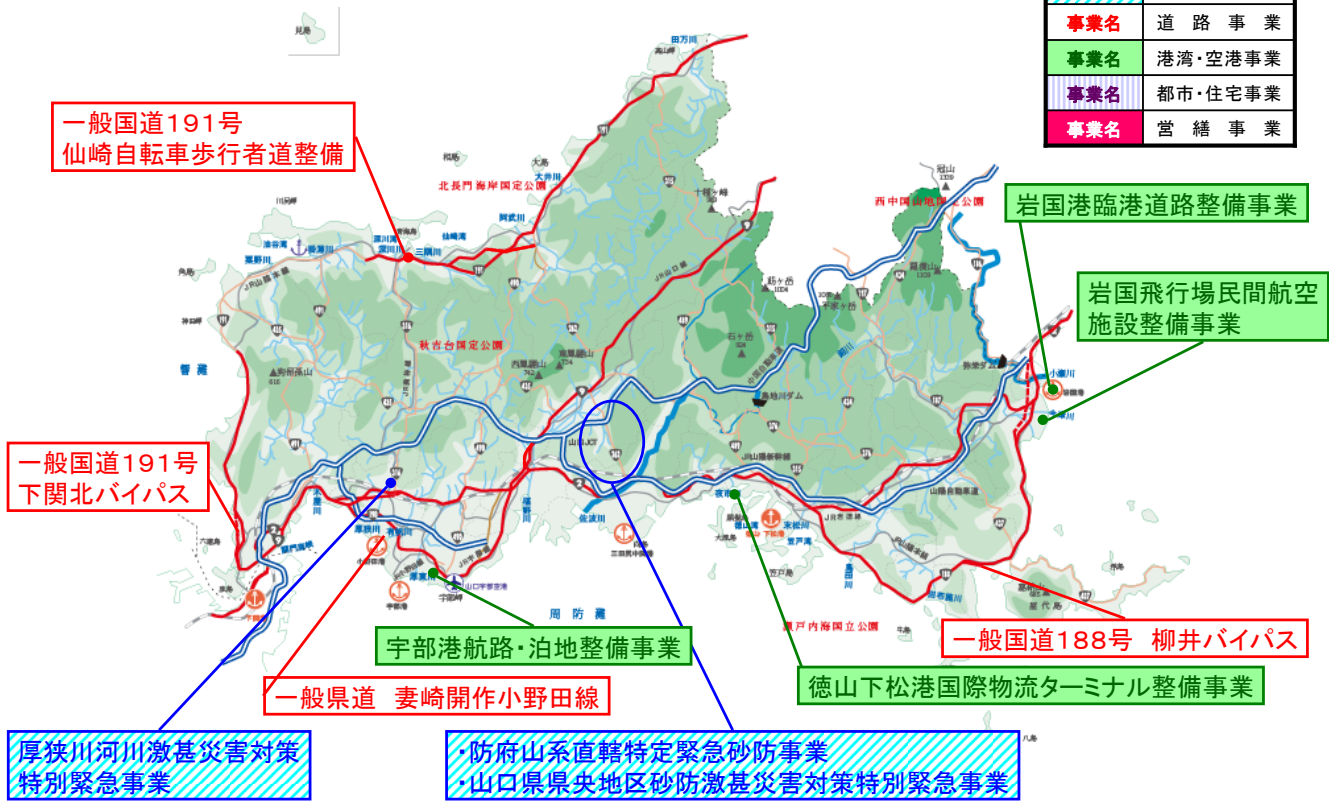
主要事業箇所【広島県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
広島市街地の高潮対策事業	河川・海岸	直轄・補助	広島県・広島市	—	河-13 港-6
太田川直轄河川改修事業（矢口地区内水対策）	河川	直轄		—	河-14
江の川総合水系環境整備事業（三川合流部箇所）	河川	直轄		H24完成予定	河-15
野間川生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	H24完成予定	河-16
広島西部山系直轄砂防事業	砂防	直轄		—	河-17
広島県庄原地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	広島県	—	河-18
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24,H25,H26完成予定	道-5
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-15
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定	道-16
一般国道54号 大伴歩道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-17
一般国道2号 皆実電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-18
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		新規着手	港-5
尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-7
呉地方合同庁舎の整備	営繕	直轄		H24完成予定	営-1

主要事業箇所【山口県】

凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-19
防府山系直轄特定緊急砂防事業	砂防	直轄		—	河-20
山口県県央地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-21
一般国道188号 柳井バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-19
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-20
一般国道191号 仙崎自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-21
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	—	道-22
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-9
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-10
岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		H24完成予定	港-11

事業別集計表

○河川事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		H24完成予定	河-1
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸保全施設整備事業	海岸	直轄		—	河-3
斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）	河川	直轄		—	河-4
斐伊川放水路事業	河川	直轄		H24完成予定	河-5
斐伊川水系治水事業（大橋川改修）	河川	直轄		—	河-6
吉井川・旭川・高梁川直轄河川改修事業（高潮・耐震対策）	河川	直轄		—	河-7
特定構造物改築事業（百間川河口水門増築）	河川	直轄		H24完成予定	河-8
旭川総合内水対策緊急事業（平井・中川町地区）	河川	直轄		—	河-9
高梁川直轄河川改修事業（小田川付替事業）	河川	直轄		—	河-10
吉井川総合水系環境整備事業（吉井川自然再生）	河川	直轄		—	河-11
吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	H24完成予定	河-12
広島市街地の高潮対策事業	河川	直轄・補助	広島県・広島市	—	河-13※
太田川直轄河川改修事業（矢口地区内水対策）	河川	直轄		—	河-14
江の川総合水系環境整備事業（三川合流部箇所）	河川	直轄		H24完成予定	河-15
野間川生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	H24完成予定	河-16
広島西部山系直轄砂防事業	砂防	直轄		—	河-17
広島県庄原地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	広島県	—	河-18
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-19
防府山系直轄特定緊急砂防事業	砂防	直轄		—	河-20
山口県県央部地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-21

※ 港-6に掲載

○道路事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-1
一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	
一般国道9号 塩津地区交差点改良	道路	直轄		H24完成予定	道-3
一般国道313号 倉古道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-4
一般国道313号 倉古関金道路	道路	補助	鳥取県	—	
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H24,H25,H26完成予定	道-5
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25,H26完成予定	道-6
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26完成予定(部分)	道-7
一般国道9号 大池尻自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-8
一般国道485号 松江第五大橋道路	道路	補助	島根県	H24完成予定	道-9
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-10
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		H26完成予定	道-11
一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-12
一般国道53号 上町川視距改良	道路	直轄		H24完成予定	道-13
主要地方道 佐伯長船線	道路	補助	岡山県・岡山市	—	道-14
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		H25完成予定(部分)	道-15
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H26完成予定	道-16
一般国道54号 大伴歩道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-17
一般国道2号 皆実電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-18
一般国道188号 柳井バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-19
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-20
一般国道191号 仙崎自転車歩行者道整備	道路	直轄		H24完成予定	道-21
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	—	道-22

○港湾・空港整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		-	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		新規着手	港-2
浜田港防波堤整備事業	港湾	直轄		-	港-3
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		-	港-4
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		新規着手	港-5
広島市街地の高潮対策事業	海岸	直轄		-	港-6※
尾道糸崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		-	港-7
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		-	港-8
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		-	港-9
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		-	港-10
岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		H24完成予定	港-11

※ 河-13に掲載

○営繕事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
呉地方合同庁舎の整備	営繕	直轄		H24完成予定	営-1

○その他

施策名	番号
広島湾再生プロジェクト	他-1

完成予定

●横断的な取り組み

○社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

菅沢ダムは管理移行後、40年あまりが経過し、ダム設備の老朽化等に伴いダムの機能確保、適正管理に支障をきたし、対策が必要となったため、平成14年度から堰堤改良事業を行っています。平成24年度は小規模放流設備工及び利水取水設備工を推進し、事業の完成を目指します。



完成イメージ図



期待される整備効果

施設改良により取水放流能力を向上させ、洪水調節操作の円滑化及び日野川下流への安定的な利水補給を行い、適正かつ効率的な貯水池運用を図ります。

ひいかわ
斐伊川総合水系環境整備事業
 なかうみ しんじこ
(中海・宍道湖)

河-2

事業推進

- **多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造**
- **瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり**

中海・宍道湖は全国的にもまれな連結汽水湖で、魚介類や渡り鳥の生息場として重要な環境でありラムサール条約の登録湿地となっています。

このような中海・宍道湖において、湖沼の水環境の改善を目指して事業を行っています。

平成24年度は、市民や研究機関等と連携した宍道湖での浅場造成・ヨシ帯の再生及び中海での浅場造成を継続し実施します。

整備前



宍道湖や中海の殆どが人工湖岸です。
 (事例:宍道湖のコンクリート護岸)

整備後



事業箇所



日本海

大橋川

伊本川・宍道湖流域

斐伊川

赤川

中海

中海流域

境水道

美保湾



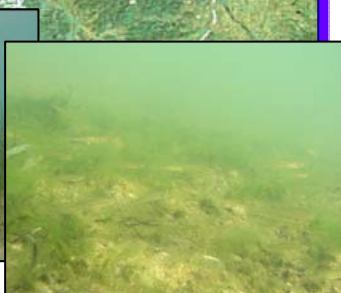
整備箇所の浅場ではヨシを再生
 (宍道湖整備箇所)



市民参加によりヨシの植栽を実施
 (宍道湖植栽風景)



藻場の再生
 (中海整備箇所)



整備箇所の浅場では魚介類
 の増加が見られる
 (中海整備箇所)

期待される整備効果

浅場の造成により、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。

アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

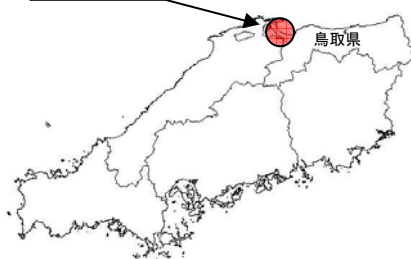
かいけ 皆生海岸保全施設整備事業

河-3

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

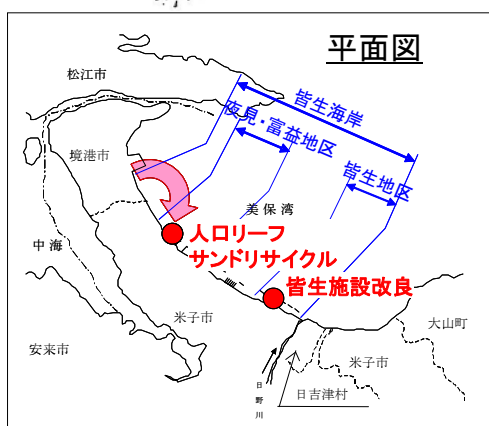
事業推進

事業箇所



皆生海岸の侵食対策として、皆生地区において、沖合侵食により機能低下した離岸堤の機能回復を図るため、施設改良(人工リーフ化)を実施します。また、富益地区において、侵食で移動した土砂を元の場所に戻すサンドリサイクルを実施します。

かいけ 皆生地区における施設改良(人工リーフ化)



サンドリサイクル施工前 (撮影日H17.12.27)



サンドリサイクル施工後 (撮影日H18.3.8)



▲サンドリサイクルにより砂浜を保全

期待される整備効果

- ・機能が低下している皆生地区の海岸保全施設の機能回復を図り、海岸侵食による被害を防止します。また、水平線が見渡せるなど景観改善や、波打ち際の勾配が緩くなることで海水浴等の利用がしやすくなるといった効果も期待できます。
- ・白砂青松の豊かな自然が残る富益地区において、海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

とみす 富益地区におけるサンドリサイクル



施設改良の効果



離岸堤
急激に深くなる



遠浅な海岸



離岸堤が眺望を阻害



景観が改善

ひ い かわ 斐伊川水系治水事業（中^{なか}海^{うみ}湖岸堤整備）

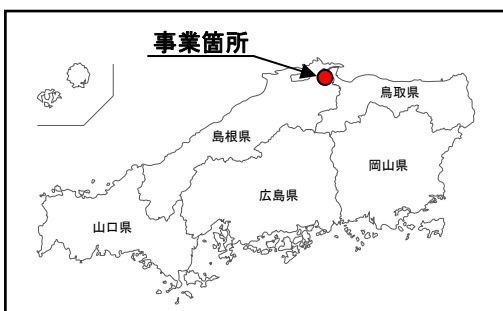
河-4

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

事業推進

中^{なか}海^{うみ}では近年高潮等による浸水被害が頻発しています。特に平成14年、15年、16年と続いた高潮や越波による浸水被害は、湖岸堤が未整備の箇所において発生しており、当面の対策として、湖岸堤高がHP+1.44m未満かつ、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後に家屋が集積している箇所の湖岸堤整備を優先的に推進します。

平成24年度は、境港市渡地区^{さかいみなとじわたり}、米子市葭津地区^{よなごしよしづ}（以上鳥取県）、松江市野原地区^{まつえしのばら}（島根県）等において湖岸堤整備を実施します。



湖岸堤整備前（松江市本庄地区）



湖岸堤の整備状況（松江市本庄地区）



松江市野原地区（島根県）



米子市葭津地区（鳥取県）



境港市渡地区（鳥取県）

期待される整備効果

湖岸堤の整備により、観測史上最大の潮位を観測した平成15年の高潮による浸水被害を防止するとともに、台風時期の波浪による越波等の浸水被害を軽減します。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
 ○災害の防止・軽減

完成予定

斐伊川水系治水事業の3点セット（上流のダム建設、中流の放水路建設と本川改修、下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備）の一つである「斐伊川放水路事業」は、斐伊川の洪水の一部を神戸川を経由し直接日本海へ分流し、県都松江市街地をはじめとする下流域の浸水被害の防止を図ることを目的に、昭和56年度より重点的に事業を推進しています。

平成24年度は、放水路事業の完成を目指し、分流堰工事を完了させるとともに、河床保護工、護岸工等を実施します。



期待される整備効果

斐伊川治水事業3点セットの完成により、宍道湖周辺をはじめ島根県東部において甚大な被害をもたらした昭和47年7月洪水や平成18年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害を防止します。

ひ い かわ おお はし がわ 斐伊川水系治水事業（大橋川改修）

河-6

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

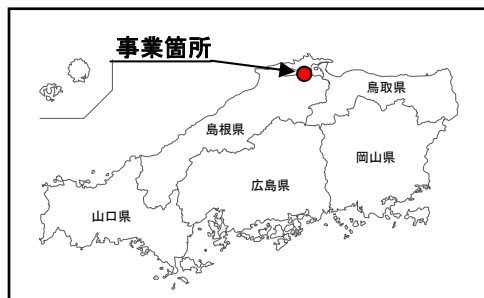
事業推進

おお はし がわ まつ え
大橋川沿川の松江市街地は低平地が広がり堤防整備も不十分で、昭和47年7月、平成18年7月洪水では、中心市街地が浸水し交通網が麻痺するなど甚大な被害が発生しており、抜本的な河川改修が急務となっています。

大橋川改修は「水都松江」としてふさわしい水辺景観や周辺のまちづくりとの調和、全国有数の漁獲量を誇るヤマトシジミの生息環境等、貴重な汽水環境にも配慮する必要があります。

これまで学識経験者等で構成される「大橋川周辺まちづくり検討委員会」や「大橋川改修に関する環境検討委員会」で議論を重ね、大橋川改修の進め方や河川環境等についていただいた助言を頂くとともに、沿川の景観形成に関する整備方針、周辺まちづくり基本計画の策定や環境調査最終取りまとめを行い、平成22年9月に「斐伊川水系河川整備計画」を策定しました。

平成24年度は、堤防護岸工事及び用地補償等を実施します。



大橋川改修事業の経緯

- 平成16年12月：大橋川改修の具体的内容の公表
(平成18年7月洪水：松江市街地で1,207戸浸水)
- 平成20年 9月：大橋川改修技術検討懇談会により、大橋川改修の進め方及び松江大橋の取り扱いについて助言
- 平成21年 2月：大橋川改修事業環境調査最終とりまとめの公表
- 平成21年 3月：大橋川周辺まちづくり基本計画の策定
- 平成21年 3月：斐伊川水系河川整備基本方針改定
- 平成21年 7月：「斐伊川水系河川整備計画」策定に向けて斐伊川河川整備懇談会を設立
- 平成21年12月：大橋川着工同意の協定書を締結
- 平成22年 9月：斐伊川水系河川整備計画策定

期待される整備効果

斐伊川治水事業3点セットの完成により、宍道湖周辺をはじめ島根県東部において、甚大な被害をもたらした昭和47年7月や平成18年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害を防止します。



H18.7浸水状況(松江市東本町)



H18.7浸水状況(松江市追子地区)



●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

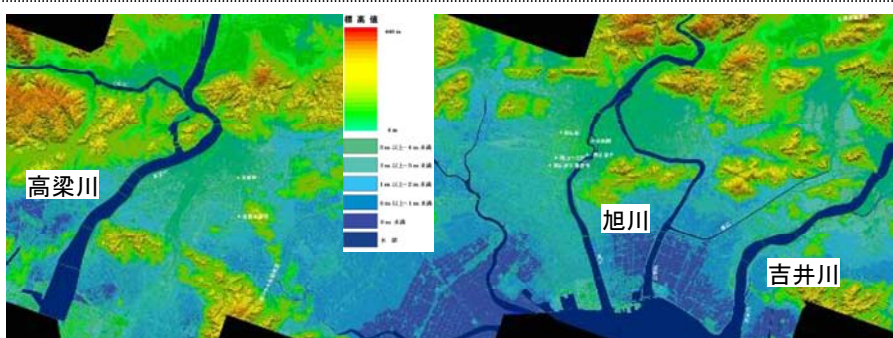
事業推進

吉井川、旭川、高梁川の河口域は干拓等により形成された低平地が広がっており、人口・資産が集中しています。そのため、高潮による浸水被害が発生した場合には、甚大な浸水被害が想定されるため、高潮堤防の整備を推進します。

また、「東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」では、地震による震動・液状化等により、被災地をはじめとして広範囲で多くの堤防が被災しました。

このため、本年度より「東南海・南海地震」の発生により甚大な被害が想定される吉井川、旭川、高梁川等の津波遡上区間において、レベル2地震動※1に対する耐震性能照査を実施しています。

平成24年度は、この照査結果を踏まえ、耐震対策が必要となった区間において、高潮堤防の整備に合わせ耐震設計、及び耐震対策を実施します。



干拓による低平地が広がる岡山三川下流部



期待される整備効果

高潮堤防の整備により、高潮による浸水被害が軽減されます。また、耐震対策を実施することにより、東南海・南海地震が発生した場合においても、堤防の沈下・崩壊を軽減し、その機能を確保することで市街地への浸水被害を軽減します。

※1：レベル2地震動

構造物の耐震設計に用いる入力地震動で、現在から将来にわたって当該地点で考えられる最大級の強さをもつ地震動のこと

特定構造物改築事業（百間川河口水門増築）^{ひゃっけん がわ}

河-8

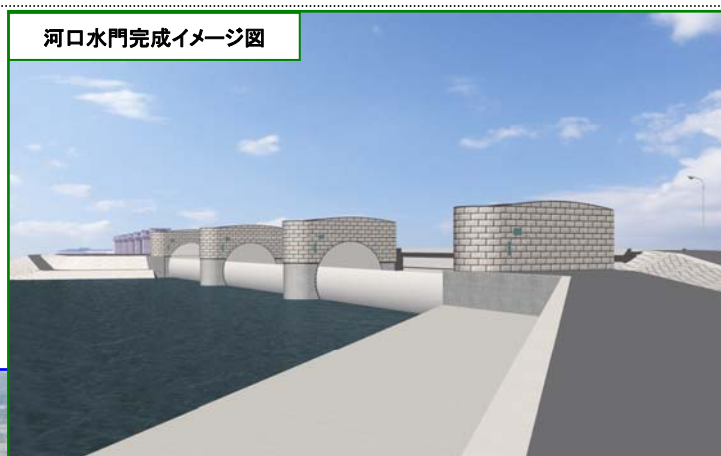
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

完成予定

百間川は、計画規模の洪水が発生した場合、既存の河口水門のみでは、洪水を安全に流下させることが困難です。

このため、平成13年度より新たな河口水門の増築に着手し、これまでに水門本体及びゲート設備等の主要な設備の整備が完了しました。

平成24年度は、事業の完成を目指し、防潮堤工、機械・電気設備工事等を実施します。



期待される整備効果

河口水門を増設することにより、計画規模の洪水が発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

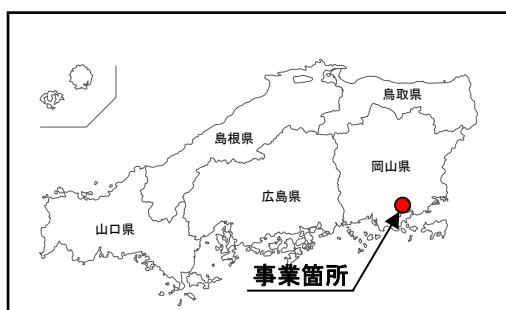
●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

事業推進

旭川の支川倉安川流域では、昭和51年9月洪水により1,160戸にも及ぶ大きな浸水被害が発生し、近年においても度々浸水被害が発生しています。

このため、河川管理者と地方公共団体とが協力して、排水機場、河川改修、調整池、その他関連する雨水排水対策施設の整備等のハード対策及び流域における流出抑制策、低地における土地利用規制策等のソフト対策を重層的に実施し、総合的な治水対策を推進します。

平成24年度は、平井排水機場のポンプ増設に引き続き、倉安川排水機場のポンプ増設を実施します。



既存の倉安川排水機場
(H5年度に排水量 $Q=2.5\text{m}^3/\text{s}$ のポンプを整備済)



期待される整備効果

排水ポンプの増設により、昭和47年7月と同規模の洪水が発生した場合においても、家屋の床上浸水の被害を解消することができます。

高梁川直轄河川改修事業（小田川付替事業）

河-10

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

事業推進

「高梁川水系河川整備計画（H22.10策定）」で定めた河川整備の実施後（概ね30年程度）には、戦後最も大きな被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生しても、浸水被害を防止又は軽減できるように整備を推進します。

高梁川本川酒津地先は一度堤防が破堤すると、その被害は倉敷市街地まで及ぶため、洪水流量及び水位を低減させることが重要です。また、近年人口が増加傾向にある倉敷市真備町では、過去内水による浸水被害が頻発しており、これらの課題を解決するための抜本的な対策として、小田川の合流点付替を実施します。

平成24年度は、本格的な工事着手に向け環境影響評価法に基づく調査・検討等を実施します。



倉敷市真備町の浸水状況（S51.9洪水）



倉敷市真備町の堤防破堤（S47.7洪水）

期待される整備効果

- 小田川付替事業の実施により、小田川合流点を下流へ付け替えることで高梁川本川酒津地区の流量・水位を低減させ、現合流点下流の倉敷市街地の氾濫危険度を軽減します。
- また、高梁川本川の背水影響が解消されることで、小田川の水位を低下させ、小田川沿川の内水による浸水被害が軽減されます。

事業推進

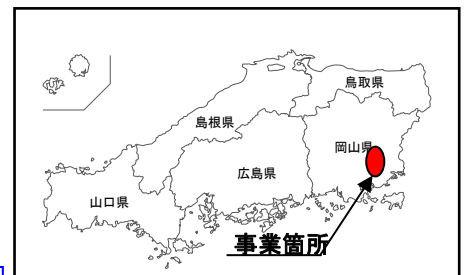
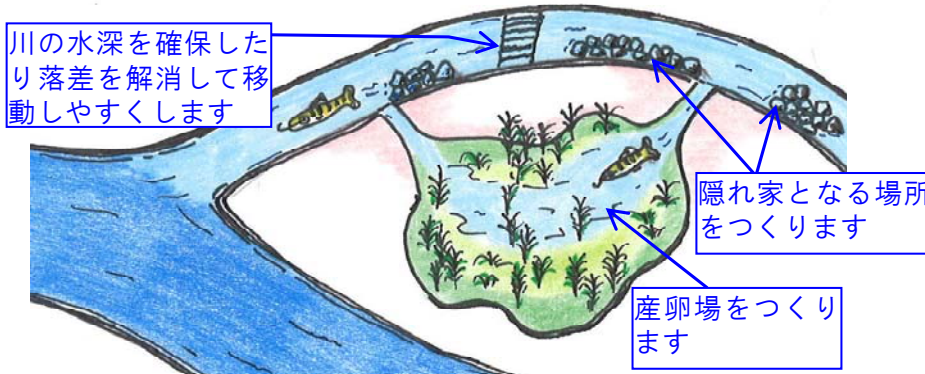
- 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
- 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

国の天然記念物に指定されているアユモドキは、かつて岡山県内で広く生息していましたが、近年著しく減少しています。吉井川は全国で初めて自然産卵場所が特定され、辛うじて維持されている環境を、専門家や地域が一体となって保全する取り組みが行われています。

アユモドキは繁殖のため、一時的な水域と河川から用水路、水田等を自由に移動できる連続性が必要だと言われています。吉井川を管理する国土交通省では、市民や関係行政機関等と連携したエコロジカルネットワークの整備を推進しています。

平成24年度は、モニタリング調査等で得られたデータを基に、産卵場の改修整備を行い、アユモドキの生息環境の保全を図ります。

整備のイメージ



期待される整備効果

産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境が向上し、絶滅の危機から守ります。

アユモドキの生息環境の悪化



工作物による移動の妨げ



魚の隠れ家の減少



外来種による捕食

アユモドキとは



アユモドキはドジョウのなかまで、形や色がアユに似ていることから、この名前がつけました。琵琶湖淀川水系と岡山県の旭川・吉井川水系だけで確認されている種です。

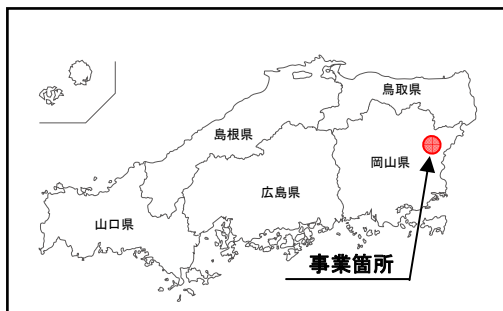
●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

○災害の防止・軽減

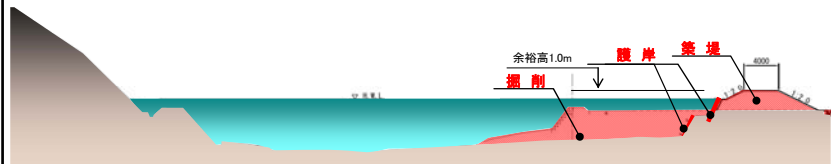
完成予定

平成21年8月の台風9号により、一級河川吉井川水系吉野川及び、支川^{やまや}山家川が氾濫し家屋浸水などの被害が発生しました。

このため、特に被害の大きかった支川山家川については、河川災害復旧助成事業による改良復旧に着手し、吉野川(美作市平田^{みまさか}～江見^{えみ}地区)については、山家川の流量増加量へ対応した一連の整備を行うため、河川災害復旧等関連緊急事業の採択をうけて、平成21年度から重点的な整備に着手しました。平成24年度は堤防嵩上げ、橋梁工等を推進し、完成を目指します。



標準横断面図



期待される整備効果

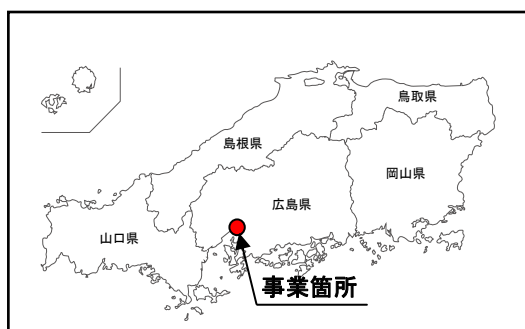
平成21年8月の台風9号と同規模の出水に対して、浸水被害の軽減が図られます。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

事業推進

ゼロメートル地帯の広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、既存の堤防等が沈下・崩壊する可能性があります。満潮時には河川水や海水が市街地へ流入し、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。このため、広島市街地を高潮被害から防御することを目的として、高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、市・県・国の河川事業と海岸事業が連携して高潮対策事業を推進しています。



凡例:

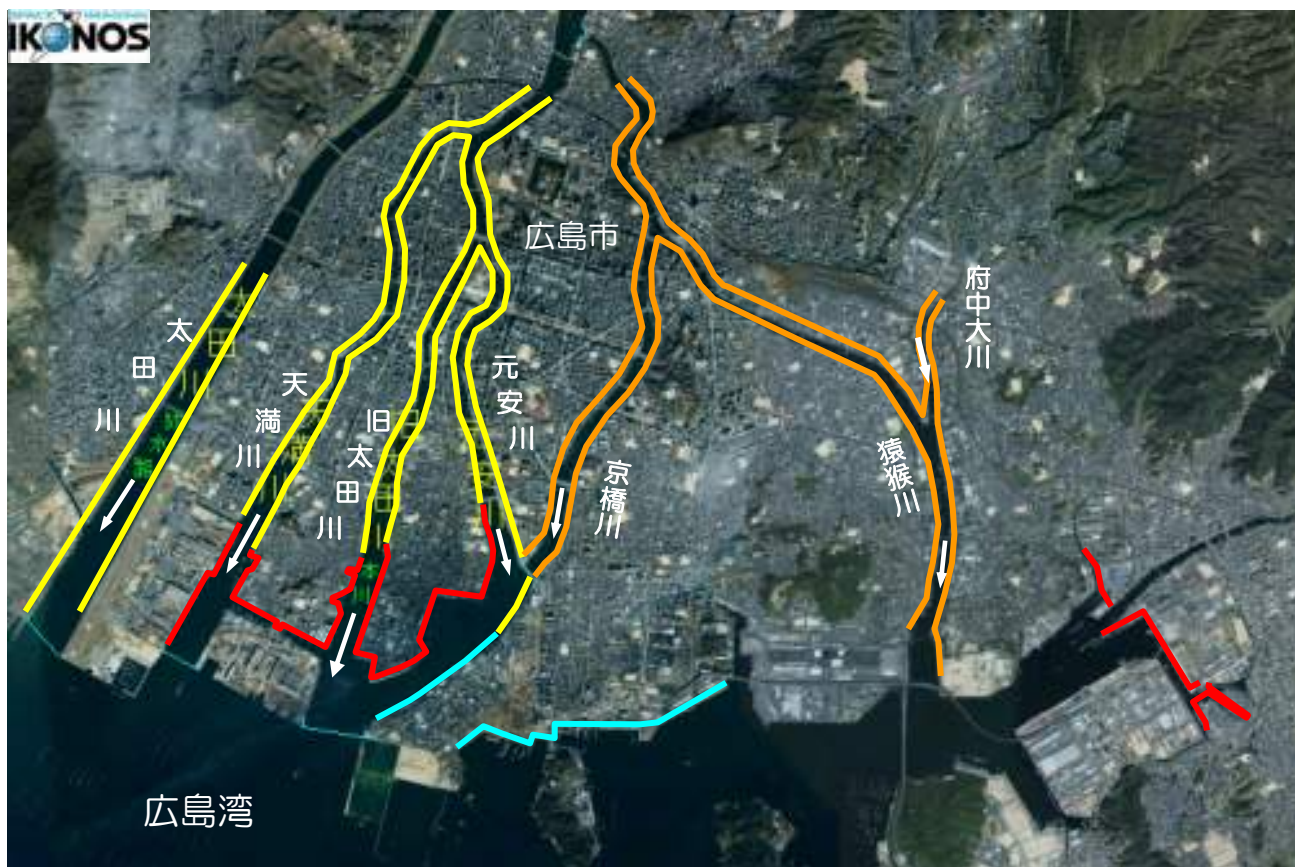
河川直轄整備区間

河川補助計画区間

海岸直轄計画区間

海岸補助計画区間

注) 河川・海岸補助は、社会資本整備総合交付金へ移行



河川事業区間について

広島市街地は、平成3年、平成11年、平成16年（観測史上最高潮位T.P. +2.96mを記録）に高潮被害が発生しているため、計画高潮位（T.P. +4.40m）対応の高潮堤防の整備を推進します。

平成24年度は、天満川の観音箇所において、引き続き高潮堤防の整備を実施します。



高潮堤防の整備前
（元安川出島地区）



H3.9 高潮被害



H16.9天満川観音地区での水防活動

高潮堤防の整備状況
（元安川出島地区）



海岸事業区間について

広島市街地は、平成16年の台風等、過去数次に渡り高潮被害を受けております。また、今後の50年間で9割以上の確率での発生が予測されている東南海・南海地震への対策も進める必要があります。また、平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、海岸事業の重要性がより一層高まっているところです。

海岸事業区間については、平成23年度整備完了の中央西地区（観音）に続いて、中央西地区（江波、吉島）等において、高潮対策及び大規模地震による液状化・津波対策に係る事業を実施します。



期待される整備効果

- 河川・港湾海岸が一体的に高潮対策を実施することで、広島市街地に甚大な浸水被害をもたらした、平成16年高潮が再び発生した場合にも浸水被害の防止・軽減を図ることができます。
- 大規模地震による液状化及び津波から市民の生命と資産を守り、誰もが安全に安心して暮らせる地域が実現します。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

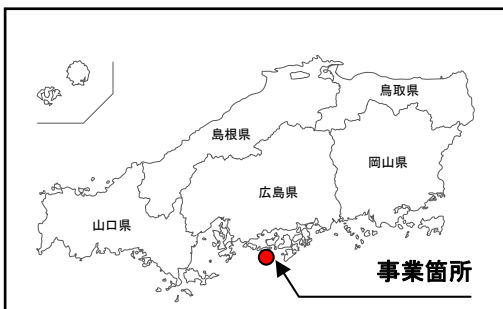
○災害の防止・軽減

事業推進

太田川の支川矢口川流域では、平成17年9月洪水、平成22年7月洪水により内水氾濫による家屋の床上浸水被害が発生しました。

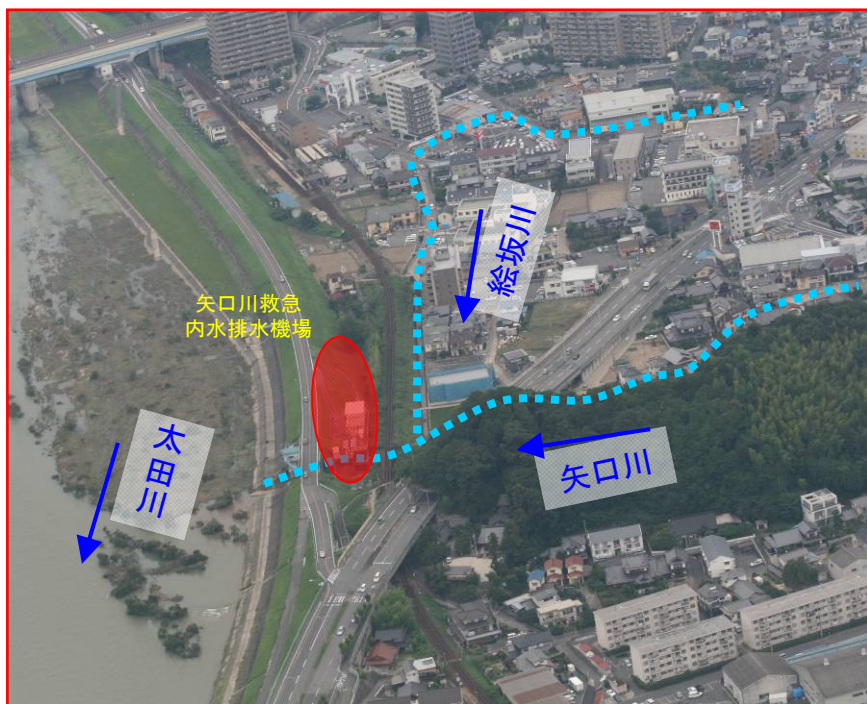
このため、内水氾濫による家屋の床上浸水被害の防止を目的に、平成23年8月に国、広島県、広島市により「総合内水対策計画」の策定のために「矢口川総合内水対策協議会」を設立し、河川管理者と地方公共団体とが協力して、排水機場、河川改修、調整池、その他関連する雨水排水対策施設の整備等のハード対策や、流域における流出抑制対策、低地における土地利用規制、的確な情報提供体制の確立等のソフト対策を重層的に組み合わせ、総合的な内水対策を推進します。

平成24年度は、本格的な工事着手に向け必要となる排水機場等の施設設計、及び用地調査等を実施します。



期待される整備効果

排水機場の増設等により、計画規模（降雨確率1/10）の降雨が発生した場合においては、家屋の床上浸水被害を防止し、平成17年9月洪水、平成22年7月洪水においては家屋浸水被害を防止することができます。



矢口地区の浸水状況
(H22. 7洪水)



矢口川救急排水機場稼働状況
(H22. 7洪水)



H23. 8に矢口川水門に
設置した情報表示板

完成予定

- 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
- 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

広島県三次市は、江の川、馬洗川、西城川が三方から巴状に合流する周辺に市街地が形成されています。三川が合流する自然豊かな眺望、伝統的な鵜飼を拠点とした水辺のにぎわい、歴史・文化あふれる三次町の街なみといった魅力ある観光拠点をさらに活かしていくため、三次市では、「かわまちづくり支援制度」を利用し、三川合流部を中心に水辺の魅力を引き出し、自然とふれあう地域交流の場としていく「かわづくり」と「まちづくり」が一体となったまちづくりを行うこととしています。

河川管理者である国土交通省では、三次市及び地域と連携し、安全・安心な河川利用ができるよう護岸や河川管理用通路の整備を実施します。

平成24年度は、河川管理用通路を整備し、完成を目指します。



期待される整備効果

河川管理施設の整備及び自治体が街路灯を整備することで、日常利用や鵜飼、花火大会など地域住民や観光客の河川利用の安全性を確保し、河川利用者及び観光客の増大、地域活性化にも貢献できます。

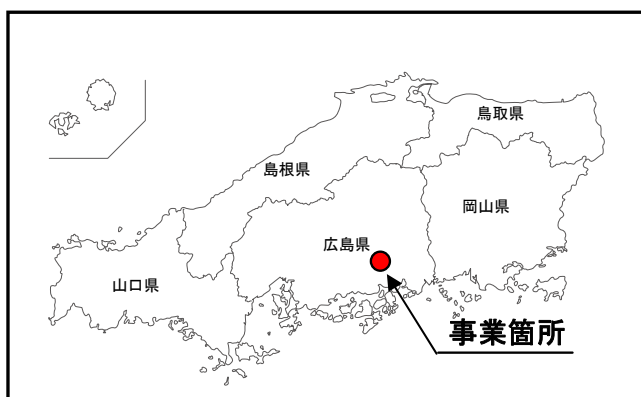
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 安定的な水資源の確保

完成予定

一級河川芦田川水系野間川は、従来よりたびたび洪水による被害に見まわっており、とりわけ昭和60年6月の豪雨では、大きな被害が発生しています。

また、三原市久井町では生活用水のほとんどを地下水に依存しており、地域の発展の為に安定した水の供給が求められています。

平成24年度は、本体工事等を実施し、野間川生活貯水池整備事業の完成を予定しています。



期待される整備効果

ダム本体(H23年8月撮影)

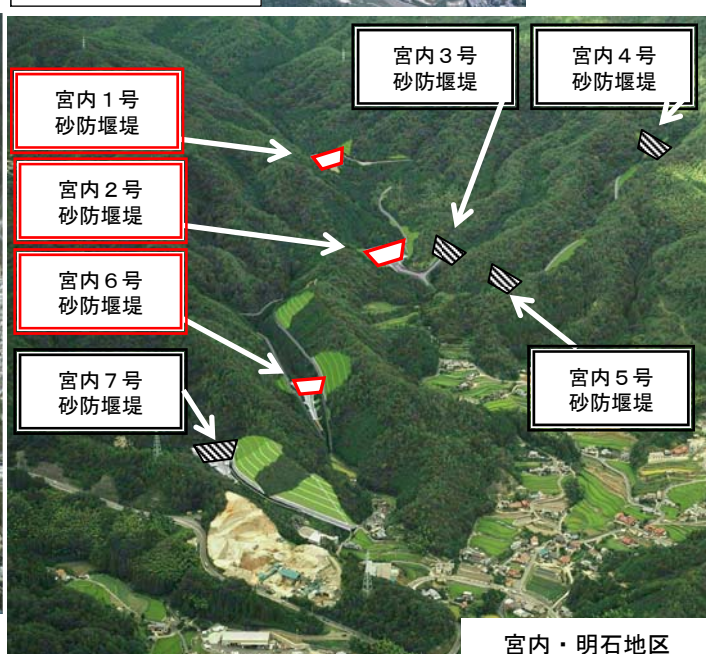
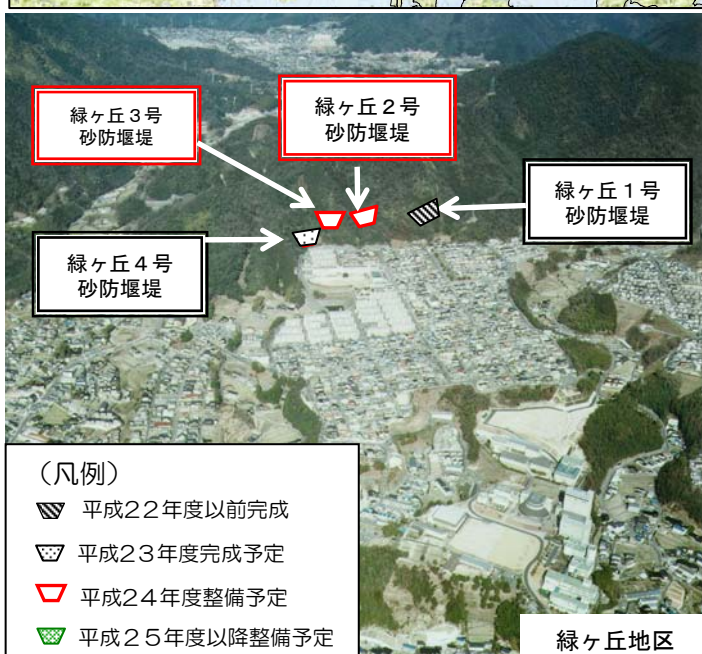
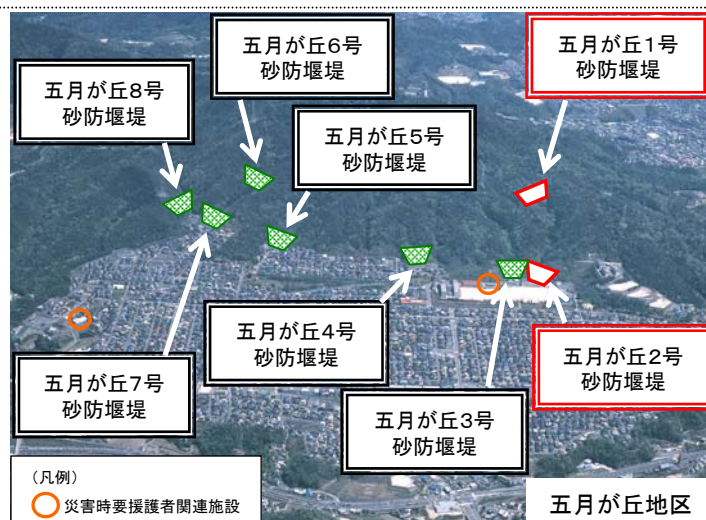
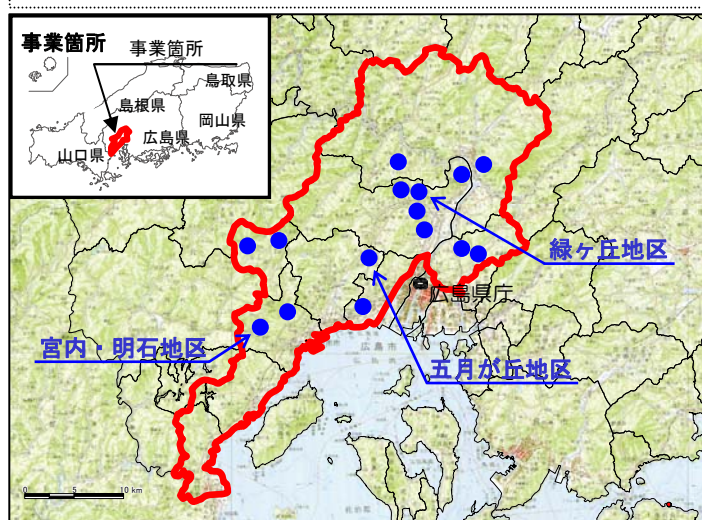
- ・洪水の調節
野間川生活貯水池整備事業の完成により、野間川下流地域の洪水被害の軽減を図ります。
- ・ダム下流の既得用水の安定化及び河川環境の保全のための流量の確保
- ・水道用水の確保
三原市久井町に最大1,750m³/日の水道用水を新たに供給します。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

事業推進

広島西部山系では、平成11年6月29日に発生した大規模な土砂災害を契機として、平成13年度から直轄砂防事業に着手しており、土砂災害から人命や資産及び主要交通網（山陽自動車道、山陽新幹線等）を保全することを目的とした事業を展開しています。

平成24年度は引き続き、五月が丘地区、宮内・明石地区、緑ヶ丘地区などで砂防施設の整備を推進します。



期待される整備効果

土石流が発生する危険性のある溪流の下流に人家や災害時要援護者関連施設等が位置している地区において、集中的に土石流対策を推進し、安全で誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指します。

事業推進

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

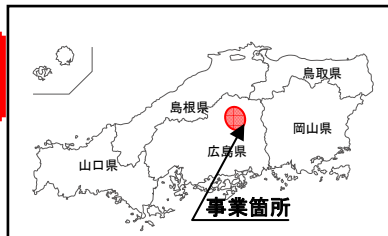
○災害の防止・軽減

平成22年7月の梅雨前線豪雨により、広島県庄原市において同時多発的な土砂災害が発生し、1名の方が犠牲となったのをはじめ、家屋の全壊や半壊、床上・床下浸水など甚大な被害を及ぼしました。

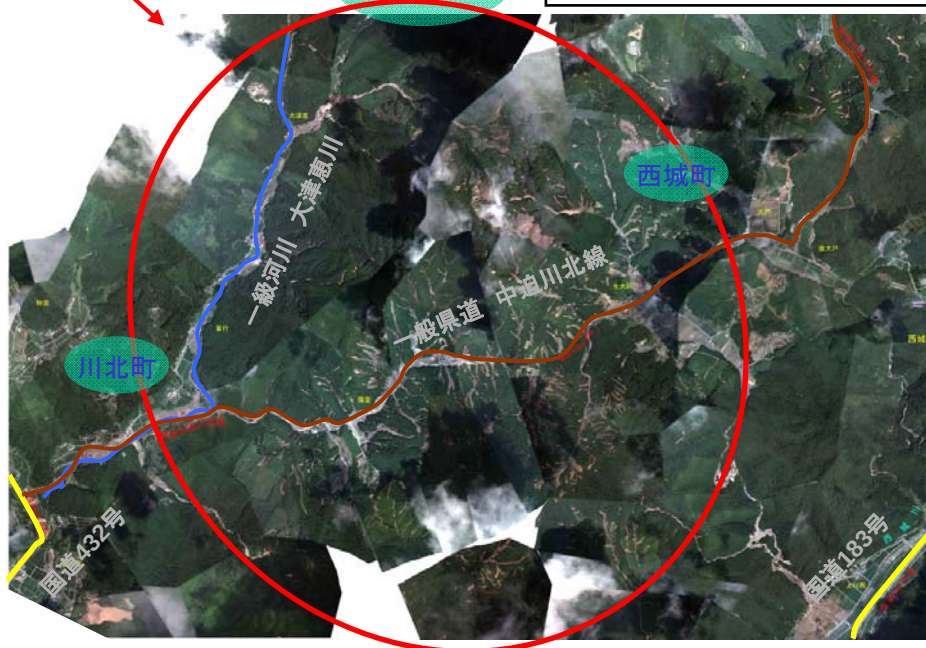
このため、平成22年度の災害関連緊急砂防事業に引き続き、平成23年度から平成25年度までの概ね3ヶ年で砂防堰堤等を緊急に整備する砂防激甚災害対策特別緊急事業を推進しています。

H23年度採択
広島県庄原地区

対象市町
庄原市(1市)



庄原市



平成22年7月豪雨災害による被災状況



篠堂川(広島県庄原市川北町)



大津恵川(広島県庄原市川北町)



先大戸川(広島県庄原市西城町)

期待される整備効果

土石流により甚大な災害が発生した箇所において、一定期間内(概ね3年)に集中投資を行い、砂防堰堤等を緊急的に整備することで、被災した地区の再度災害防止を図ります。

事業推進

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

平成22年7月10日から15日にかけての梅雨前線に伴う大雨により、東厚保観測所(美祢市)では、総雨量588mmを記録し、7月の平年の月降水量の1.5倍を超える大雨となりました。

これにより、山陽小野田市を流れる二級河川厚狭川及び支川桜川が氾濫し、700戸を超える家屋の浸水被害が発生しました。

このため、河川激甚災害対策特別緊急事業により、河道の掘削及び拡幅、排水ポンプの増設等を推進します。



期待される整備効果

平成22年7月15日の梅雨前線に伴う大雨と同規模の出水に対して、浸水被害の軽減が図られます。

事業推進

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

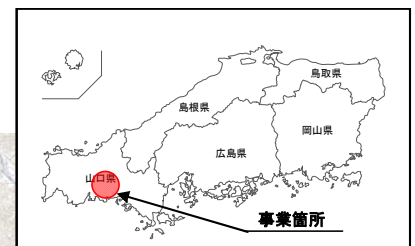
平成21年7月の梅雨前線豪雨により、山口県防府市を中心とする地域において同時多発的な土石流が発生し、19名※の方々が犠牲となるなど地域社会に甚大な被害を及ぼしました。

このため、平成21年度の直轄砂防災害関連緊急事業に引き続き、特に甚大な被害を受けた剣川・上田南川・奈美川(松ヶ谷川)の3箇所における災害防止対策を直轄特定緊急砂防事業として、平成22年度から砂防堰堤等の整備に着手しています。

平成24年度は引き続き、剣川・上田南川・奈美川(松ヶ谷川)において砂防堰堤等の砂防施設の建設を推進します。

※犠牲者数は、災害関連死として認定された方々を含む。(H22.3.24現在)

- : 直轄災害関連緊急事業として整備した砂防堰堤
- : 直轄特定緊急砂防事業として砂防施設を整備中の箇所
- : 平成21年7月21日発生 of 土石流発生箇所



剣川直下流での土石流被害の状況



大量の流木により奈美川が閉塞し、団地内の道路を濁流が流れた状況



土石流により被災した上勝坂橋(国道262号)



老人ホームを直撃した上田南川の土石流

期待される整備効果

土石流により甚大な災害が発生した箇所において、国直轄による短期・集中的な砂防施設の整備により、被災した地区の再度災害防止を図ります。

事業推進

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

○災害の防止・軽減

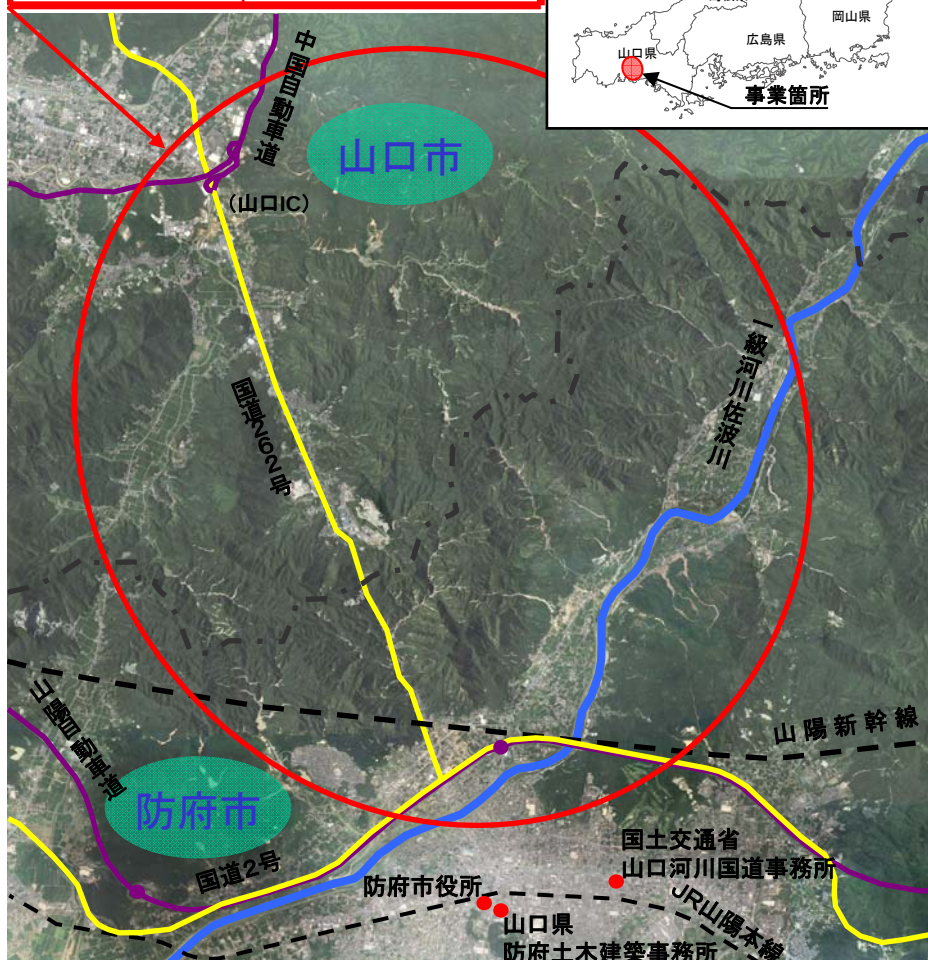
平成21年7月の梅雨前線豪雨により、^{やまぐち}山口市・^{ほうふ}防府市において同時多発的な土砂災害が発生し、19名[※]の方々が犠牲となったのをはじめ、家屋の全壊や半壊、床上・床下浸水など甚大な被害を及ぼしました。

このため、平成21年度の災害関連緊急砂防事業に引き続き、平成22年度から平成24年度までの概ね3ヶ年で砂防堰堤等^{えんてい}を緊急に整備する砂防激甚災害対策特別緊急事業を推進しています。

※犠牲者数は、災害関連死として認定された方々を含む。(H22.3.24現在)

H22年度採択
山口県県央部地区

対象市町
山口市、防府市(2市)



平成21年7月豪雨災害による被災状況



石原南川、石原1(山口県防府市)



阿部谷川(山口県防府市)



柊南溪流(山口県山口市)

期待される整備効果

土石流により甚大な災害が発生した箇所において、一定期間内(概ね3年)に集中投資を行い、砂防堰堤等^{えんてい}を緊急的に整備することで、被災した地区の再度災害防止を図ります。

とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路

道-1

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

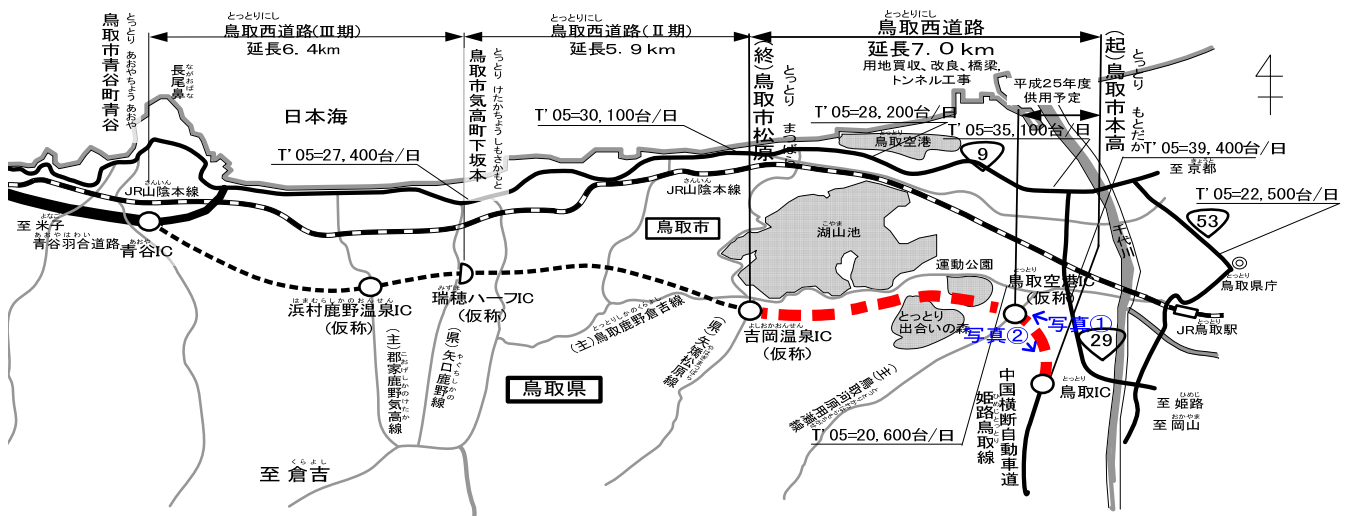
事業推進

一般国道9号鳥取西道路は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市本高から同市松原に至る延長7.0kmの道路です。平成24年度は、鳥取市本高から鳥取市松原間の用地買収及び改良、橋梁、トンネル工事を推進し、平成25年度供用（鳥取ICから鳥取空港IC（仮称）までの延長1.8km）を目指します。

位置図



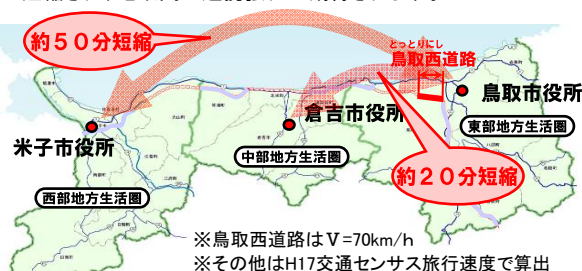
進捗状況写真



期待される整備効果

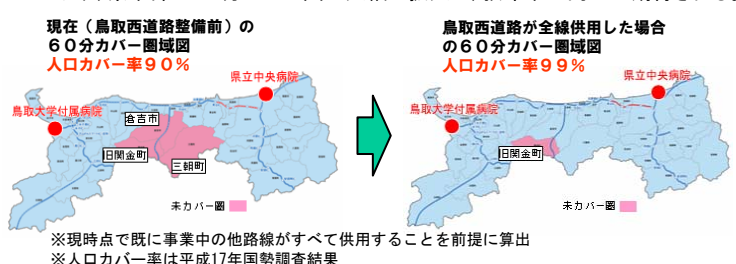
●所要時間の短縮

・鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



●第3次医療施設までのアクセス向上

・鳥取県の三次医療施設は、県立中央病院（鳥取市）と鳥取大学付属病院（米子市）の2カ所であり、鳥取西道路の整備により、県中部の60分カバー圏が大幅に拡大し、救命率の向上が期待される。



道-2

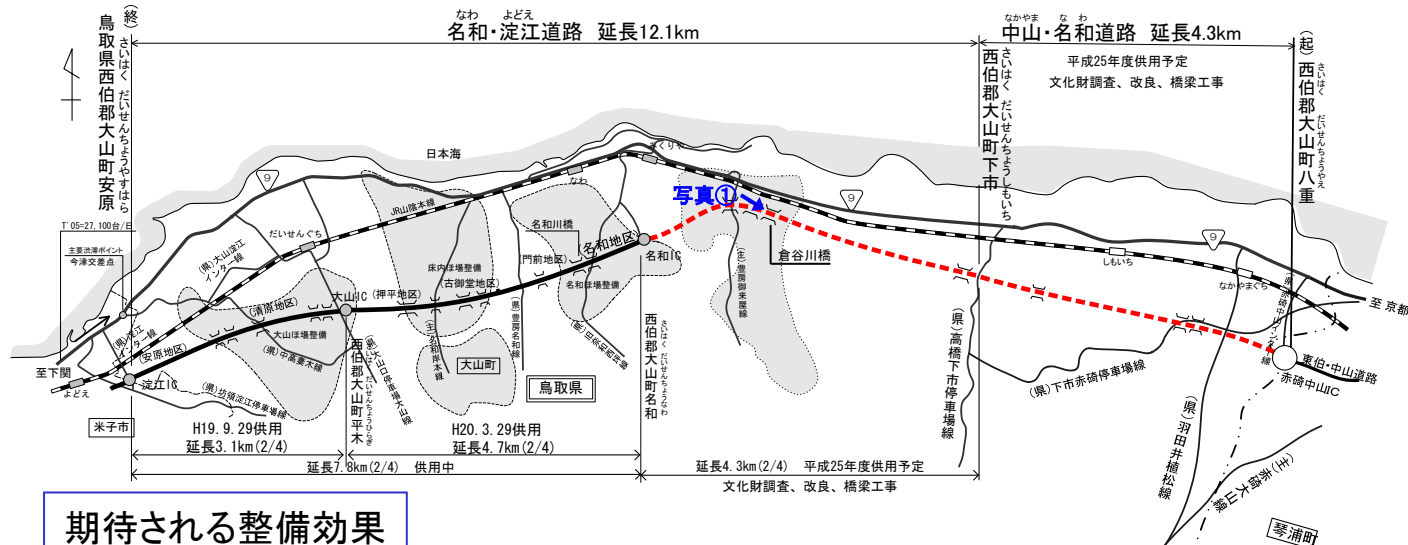
事業推進

平成24年度は、文化財調査、改良、橋梁工事を推進し、平成25年度の全線供用を目指します。

現道狀況
(通行障害)



国道9号冬期通行障害発生状況(琴浦町別所地内)



期待される整備効果

●走行時間短縮による物流効率化の支援

鳥取県中部及び沿線の工業団地から境港や米子空港までの所要時間が短縮され、物流の効率化が期待されます。



●代替路線の確保による道路網の信頼性向上

山陰道が迂回路として機能することにより、東西交通の確保及び復旧・救援作業を迅速に行う事が可能になり、現道の早期復旧により生活面・経済面の影響が軽減されます。



しおつ 一般国道9号 塩津地区交差点改良

道-3

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

西伯郡大山町に位置する当該箇所は、3つの交差点が連続しており、JR下市駅、中山小学校等への右折車が多いものの、右折車線がないため右折待ちの車両への追突事故が多発している状況です。

平成24年度は、交通事故の削減を図るため、右折車線設置工事に着手し、完成を目指します。



位置図



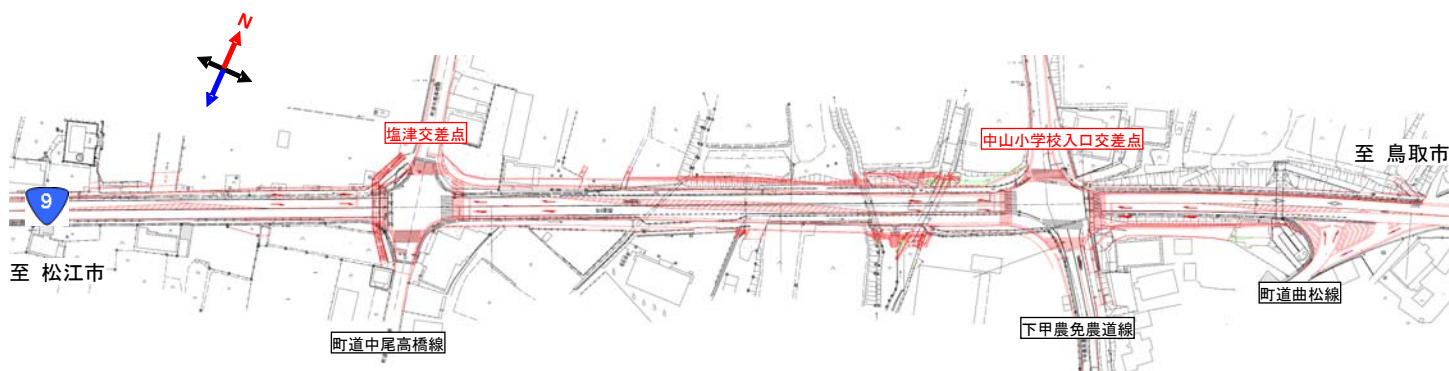
現況写真

国道9号鳥取県西伯郡大山町地内



松江市方面から鳥取市方面を望む

計画



期待される整備効果

- ・ 右折車線の設置により、追突事故を防止し、交通事故発生の低減を図ります。

一般国道313号 倉吉道路 (鳥取県)

一般国道313号 倉吉関金道路 (鳥取県)

道-4

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

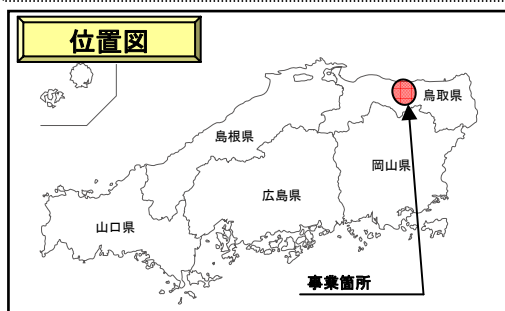
部分完成

事業推進

「倉吉道路」及び「倉吉関金道路」は、地域高規格道路「北条湯原道路」の一部を構成し、平成19年3月に供用開始した北条倉吉道路と一体となって鳥取県と岡山県の連携強化を図るとともに、一般国道313号の倉吉市内の線形不良等の交通隘路区間や渋滞の解消を目的とした延長約4.1km及び約7.0kmの自動車専用道路です。

平成24年度は、倉吉道路の改良、橋梁工事などを推進し、平成24年度中の倉吉IC～倉吉西IC間約3.3kmの供用を目指します。また、倉吉関金道路の測量設計、用地買収を推進します。

位置図

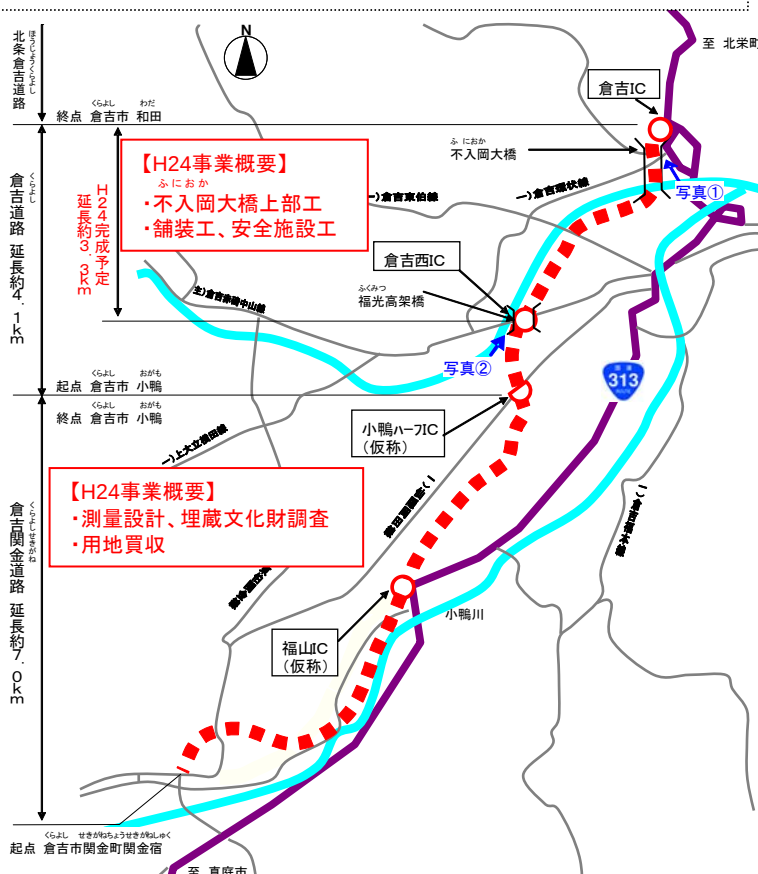


進捗状況写真

①不入岡(ふにおか)大橋 (H23.8撮影)

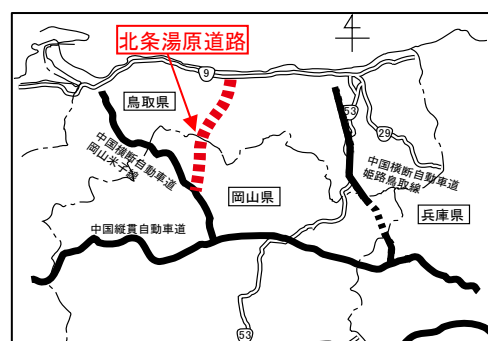


②福光(ふくみつ)高架橋 (H23.5撮影)



期待される整備効果

- 鳥取県中部地方生活圏から中国横断自動車道岡山米子線湯原ICへのアクセス性が向上するとともに、基幹道路である一般国道9号へ北条倉吉道路を介し連結することで、生活圏・交流圏の拡大や高速性・定時性の確保を図ります。
- 特産品であるスイカを出荷している農業施設や電子機器製品等を生産している西倉吉工業団地からのアクセスが向上することにより、物流の円滑化が図られ、地域経済の活性化が期待されます。
- 家屋が連担した現道部分の交通量が減少することで、安全性の向上、交通渋滞の緩和が図られ、さらに緊急時・災害時の安定した物資輸送等に寄与します。



中国横断自動車道尾道松江線

道-5

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

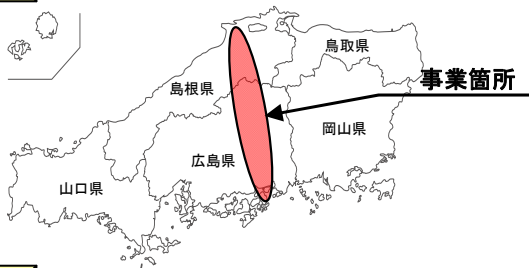
●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

部分完成

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。

平成24年度は三次JCT・IC(仮称)～吉田掛合IC(仮称)間(延長48.7km)の改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進し、平成24年度内の供用を目指すと共に、世羅IC～三次JCT・IC(仮称)間の改良、橋梁工事を推進し、平成26年度までに全線供用を目指します。

位置図

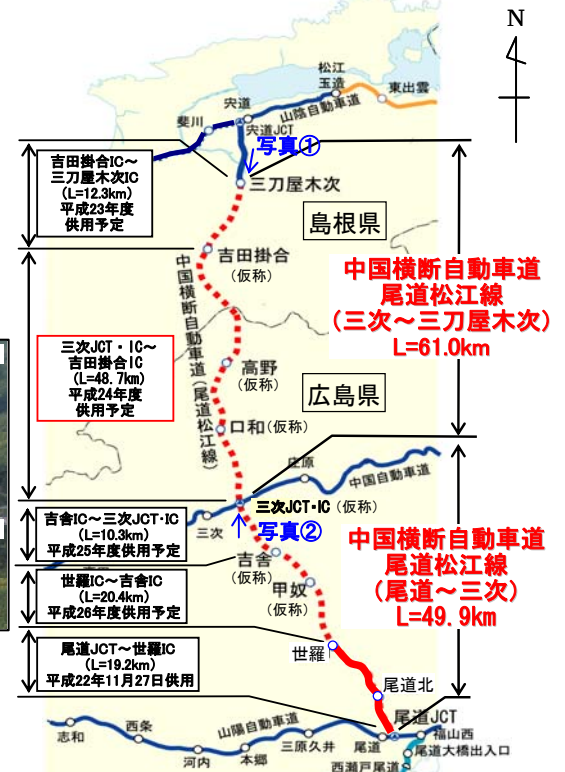


進捗状況写真



吉田掛合IC～三刀屋木次IC間(三刀屋木次IC付近)

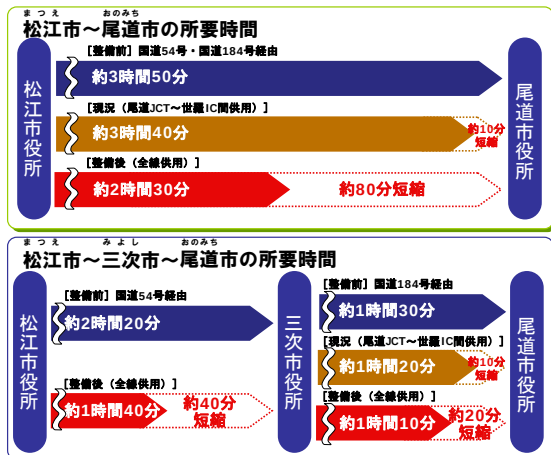
三次JCT・IC～口和IC間(三次JCT・IC付近)



期待される整備効果

●主要都市間の所要時間短縮及びりだんげんシーの確保

尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



※所要時間は、下記の条件により算出
整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度
現況：尾道JCT～世羅IC間はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度
整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

●観光の支援(日帰り圏の拡大)

尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※時間圏は、左記と同様に算出

資料：広島県、鳥根県、境港市観光動向調査結果 (H22)

東京発バックツアーの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を進行する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

道-6

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

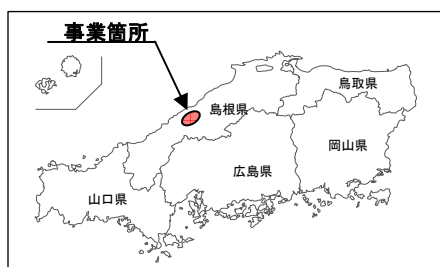
事業推進

一般国道9号仁摩・温泉津道路は、大田市内の交通隘路区間の解消及び交通安全の確保を目的とした、大田市仁摩町大田から同市温泉津町今浦に至る延長11.8kmの道路です。

平成24年度は、文化財調査、改良、橋梁、トンネル、舗装工事を推進し、平成25年度供用(湯里IC(仮称)から福光IC(仮称))及び平成26年度までに全線供用を目指します。

位置図

進捗状況写真

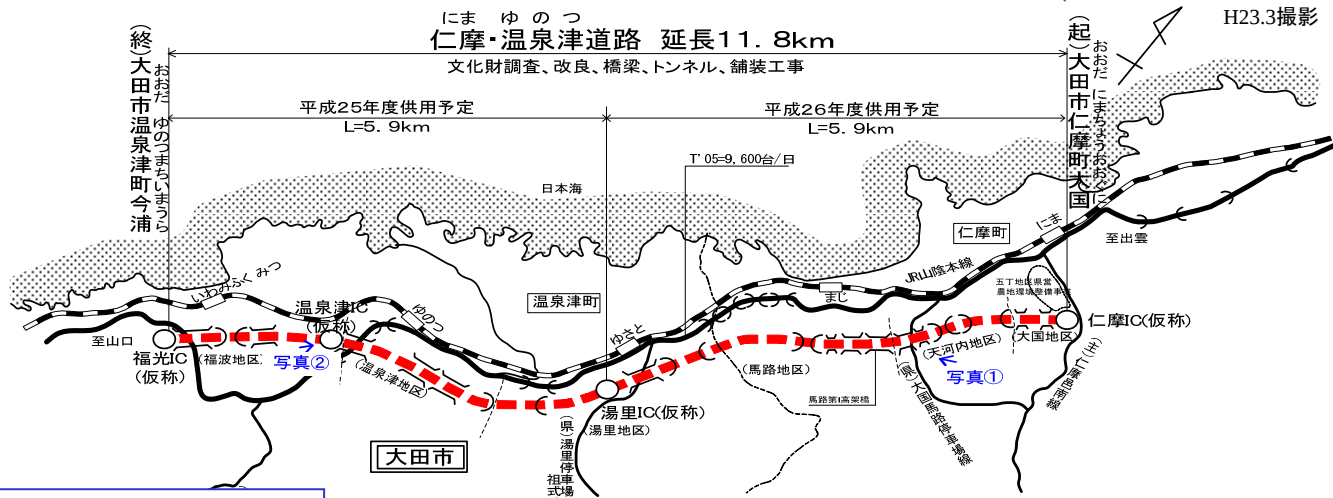


島根県大田市仁摩町天河内・馬路地内
(西側を望む) H23.3撮影



島根県大田市温泉津町温泉津地内
温泉津IC(仮称)付近 (東側を望む) H23.3撮影

仁摩・温泉津道路 延長11.8km
文化財調査、改良、橋梁、トンネル、舗装工事



期待される整備効果

●代替路の確保

仁摩・温泉津道路の整備により、多数の要防災対策箇所を回避し、事故・災害時の幹線道路としての機能を確保が確保され、信頼性の高い道路サービスの提供が可能になります。

●現道の隘路区間の解消

仁摩・温泉津道路の整備により、多数ある線形不良区間、国際コンテナ通行支障トンネル区間が解消されます。



一般国道9号 浜田・三隅道路

道-7

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

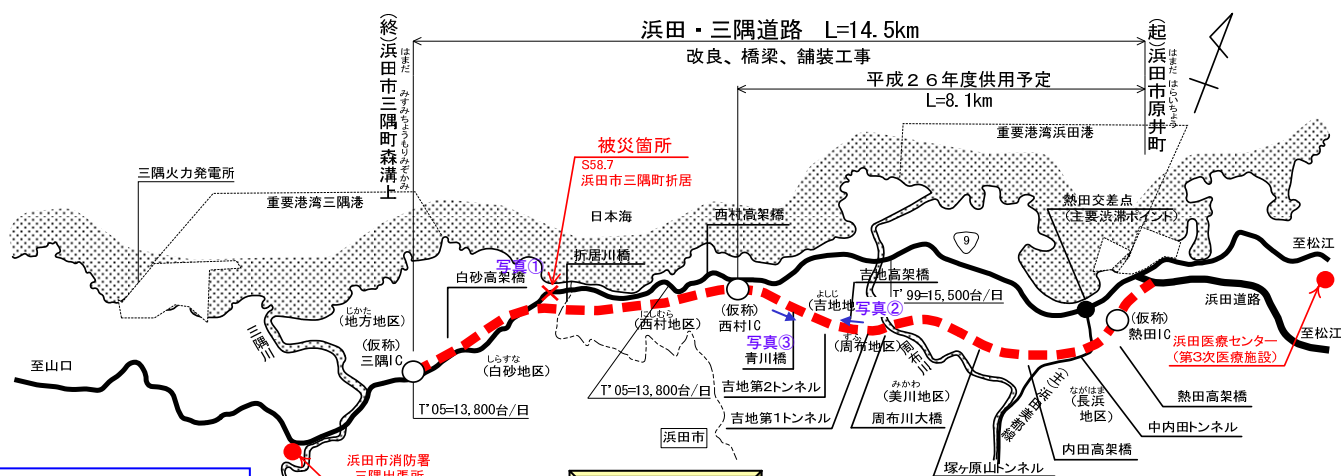
●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

一般国道9号浜田・三隅道路は、浜田市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした浜田市原井町から同市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの道路です。

平成24年度は、改良、橋梁、舗装工事を推進し、平成26年度の供用(熱田IC(仮称)～西村IC(仮称))を目指します。

位置図



豪雨による災害



① S58.7: 国道9号浜田市三隅町折居

進捗状況写真



吉地高架橋、吉地第2トンネル



青川橋、吉地第2トンネル

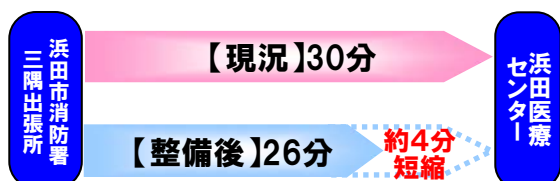
期待される整備効果

●代替路の確保

斜面崩落等で一般交通に影響を及ぼす可能性のある区間(H18防災点検要対策箇所8箇所)が回避されるなど、国道9号の災害や重大事故発生時における代替え路が形成され、走行の安全性、定時性が向上します。

●所要時間の短縮

高次医療施設へのアクセス時間の短縮(4分短縮)や、熱田交差点で、朝・夕の慢性的な渋滞が緩和されます。



注) 現況: H17道路交通センサスの規制速度で算出
整備後: 浜田三隅道路はV=70km/h、その他はH17道路交通センサスの規制速度より算出

おおいけじり 一般国道9号 大池尻自転車歩行者道整備

道-8

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

浜田市国分町に位置する当該区間は、近傍にこくふ保育園、国府小学校、浜田東中学校が立地しており、通学路に指定されていますが、狭隘な歩道区間のため、非常に危険な状態となっています。また、JR山陰本線の大池尻踏切と近接する交差点があるものの、右折車線がないため右折待ちの車両への追突事故が多発している状況です。

平成24年度は、安全・安心な歩行空間の確保のため、自転車歩行者道整備工事及び交通事故の削減を図るため、右折車線の設置工事を推進し、完成を目指します。



位置図

現況写真



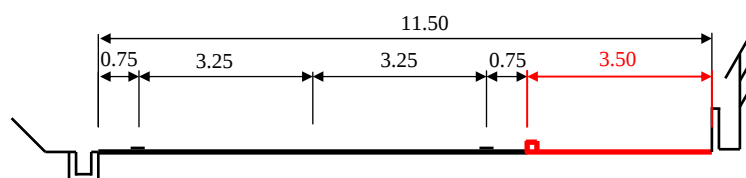
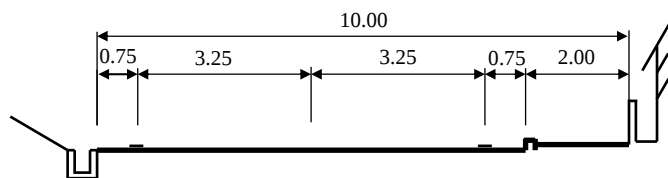
国道9号島根県浜田市国分町地内

益田市方面から松江市方面を望む

現況

計画

(単位:m)



自転車歩行者道新設

期待される整備効果

- ・ 自転車歩行者道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。
- ・ 右折車線の設置により、追突事故を防止し、交通事故発生の低減を図ります。

一般国道485号 松江第五大橋道路(島根県)

道-9

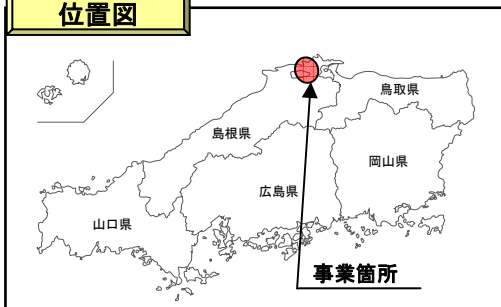
●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

完成予定

「松江第五大橋道路」は、地域高規格道路「境港出雲道路」の一部として山陰道とともに宍道湖・中海圏域の8の字ルートを構成する道路で、中核都市松江の機能強化を図るとともに、一般国道485号の渋滞緩和を目的とした、延長約5.2kmの道路です。

平成24年度は、改良、橋梁、トンネル、舗装工事などを推進し、平成24年春に暫定2車線で供用予定の西尾IC～松江JCT間2.6kmに引き続き、平成25年春の全線暫定2車線での供用を目指します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

市街地の外環状道路として機能し、市内の渋滞が緩和されるとともに、災害や緊急時の迂回路として大きな効果を発揮します。



国道485号の渋滞状況(くにびき大橋)



H18年7月豪雨後の市街地の冠水状況
国道485号(JR松江駅付近)

中国横断自動車道姫路鳥取線

道-10

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

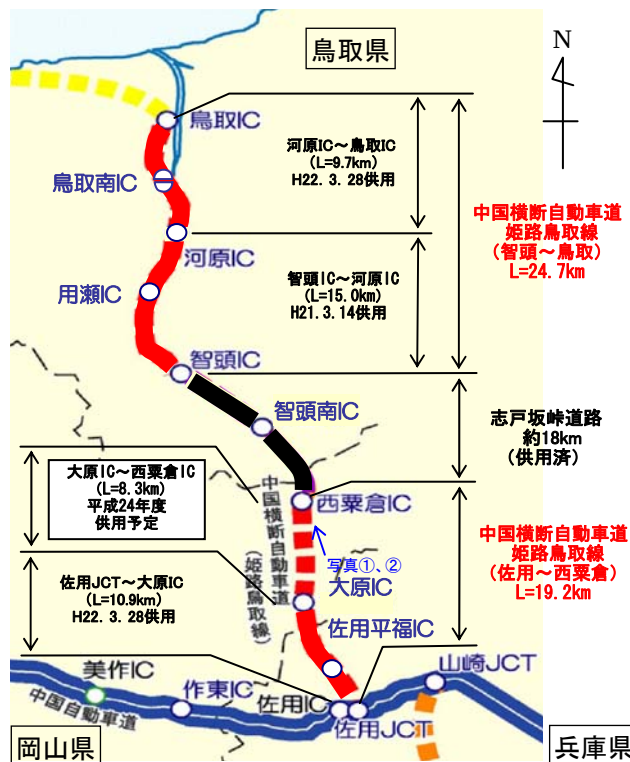
完成予定

中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点に兵庫県・岡山県・鳥取県の3県を結び鳥取市に至る、延長約86kmの高速自動車国道です。
平成24年度は、大原IC～西粟倉IC間(延長8.3km)の、改良、舗装、トンネル設備工事を推進し、平成24年度の全線供用を目指します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

●主要都市間の所要時間短縮

姫路鳥取線の整備により、山陽・京阪神側の拠点都市との所要時間が短縮され、地域間交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



●地域産業の活性化

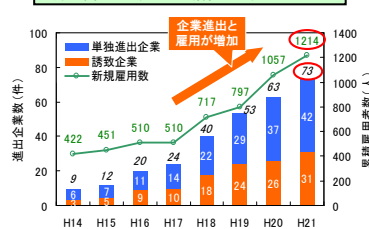
姫路鳥取線の整備により、近畿・山陽方面へのアクセス性が飛躍的に高まり、姫路鳥取線沿線は今後も更なる企業進出が期待されます。

鳥取県東部の主な誘致企業位置図



鳥取県東部の企業進出状況(H14以降累積)

鳥取県東部では企業の進出が活発化。
H14～H21の8年間に進出した企業は延べ73社。
H21までに新たに約1200人の雇用を創出。
今後も更なる企業進出が期待される。



一般国道2号 玉島・笠岡道路

道-11

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

一般国道2号玉島・笠岡道路は、慢性的に発生する交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展を目的とした、倉敷市玉島阿賀崎から浅口市金光町佐方に至る延長4.5kmの道路です。平成24年度は、用地買収及び改良、橋梁工事を推進し、平成26年度の供用を目指します。

位置図



渋滞状況写真



写真①国道2号唐船交差点付近

進捗状況写真



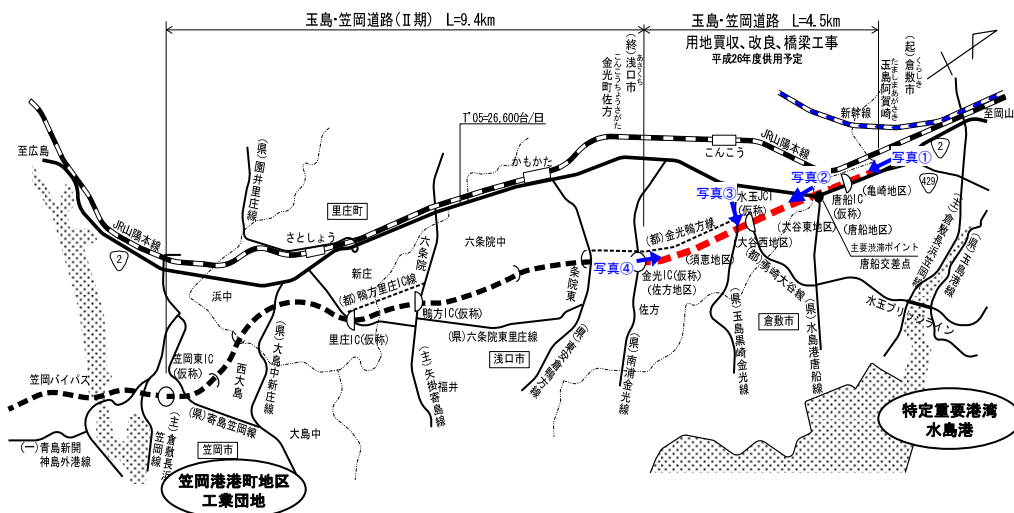
写真②浅口市金光町大谷地内(大谷東高架橋)



写真③浅口市金光町大谷地内(横池高架橋)



写真④浅口市金光町佐方地内



期待される整備効果

●所要時間の短縮

玉島・笠岡道路を含む倉敷福山道路の整備により、現道からバイパスへ交通が転換し、国道2号の交通渋滞が緩和され所要時間が短縮します。

- ・特定重要港湾水島港～笠岡港町地区工業団地間の所要時間が短縮。
(現況80分→40分:約40分短縮)

●第3次医療施設までのアクセス向上

玉島・笠岡道路の整備により沿線地域から第3次医療施設である川崎医科大学へのアクセスが改善され、地域の医療サービスの向上が期待されます。



※玉島・笠岡道路のみ:約5分短縮、玉島・笠岡道路(Ⅱ期)のみ:約5分短縮
笠岡バイパスのみ:約15分短縮
※現況所要時間はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度
将来所要時間は玉島・笠岡道路V=70km/h、笠岡バイパスV=60km/hとして算出

一般国道30号 児島・玉野拡幅

道-12

●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

完成予定

一般国道30号児島・玉野拡幅は、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び港湾拠点と岡山都市圏との連携・アクセス強化、広域交流の促進を目的とした、岡山市南区当新田から玉野市田井に至る延長15.0kmの現道の4車線拡幅を図ってきたところですが、岡山市南区当新田地区の0.7km間については右折レーンやバス停車帯が未整備であるため、引き続き事業を進めています。

平成24年度は、当新田地区の用地買収及び改良、舗装工事を推進し、平成24年度の供用を目指します。

位置図



渋滞状況写真

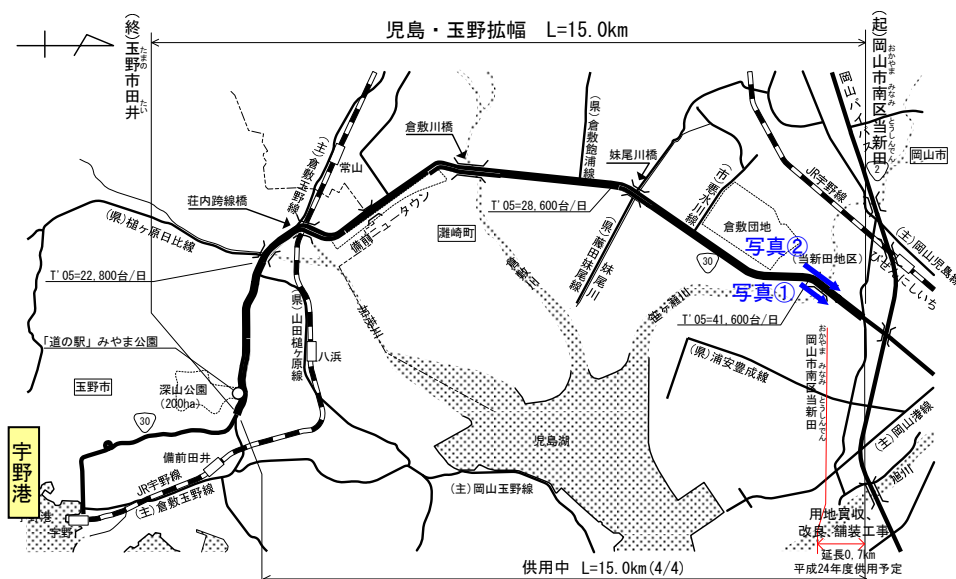


写真①岡山市南区当新田地内
○右折レーンが未整備のため、後続車に渋滞が発生及びバス停が未整備のため、バス後続車の渋滞、無理な追越しによる事故が発生

進捗状況写真



写真②岡山市南区当新田地内(第1芳田橋)



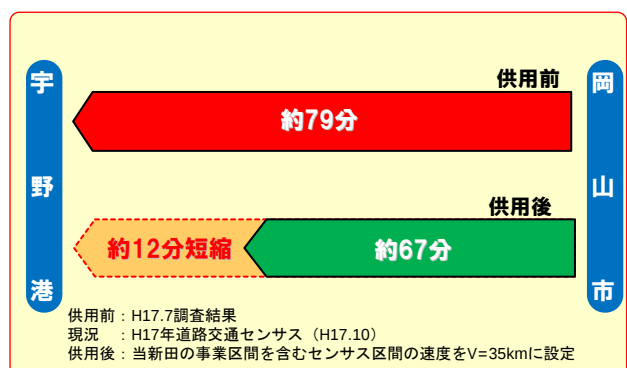
期待される整備効果

●所要時間の短縮

児島・玉野拡幅の整備により所要時間の短縮が期待されます。
○岡山市街地～玉野市街地間の所要時間は約2割短縮
(現況: 79分→67分・・・約12分の短縮)

●物流拠点までのアクセス向上

児島・玉野拡幅の整備により主要な物流拠点である岡山空港・重要港湾宇野港へのアクセス向上も期待されます。



かみまちがわ 一般国道53号 上町川視距改良

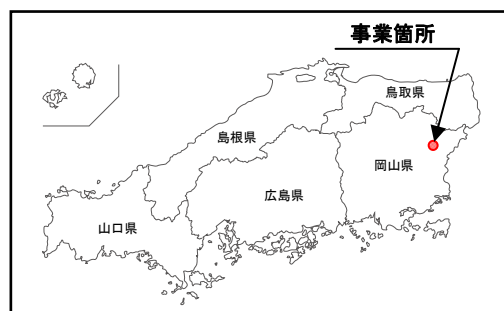
道-13

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

勝田郡奈義町上町川に位置する当該区間は、直線区間の間に曲線が入っているため、速度超過による追突事故が発生している状況です。また、両側に歩道がなく、歩行者や自転車の通行に危険が伴う状況です。

平成24年度は、交通事故の削減を図るため、視距改良工事及び、安全・安全な歩行空間の確保のため、歩道整備工事を推進し、完成を目指します。



位置図

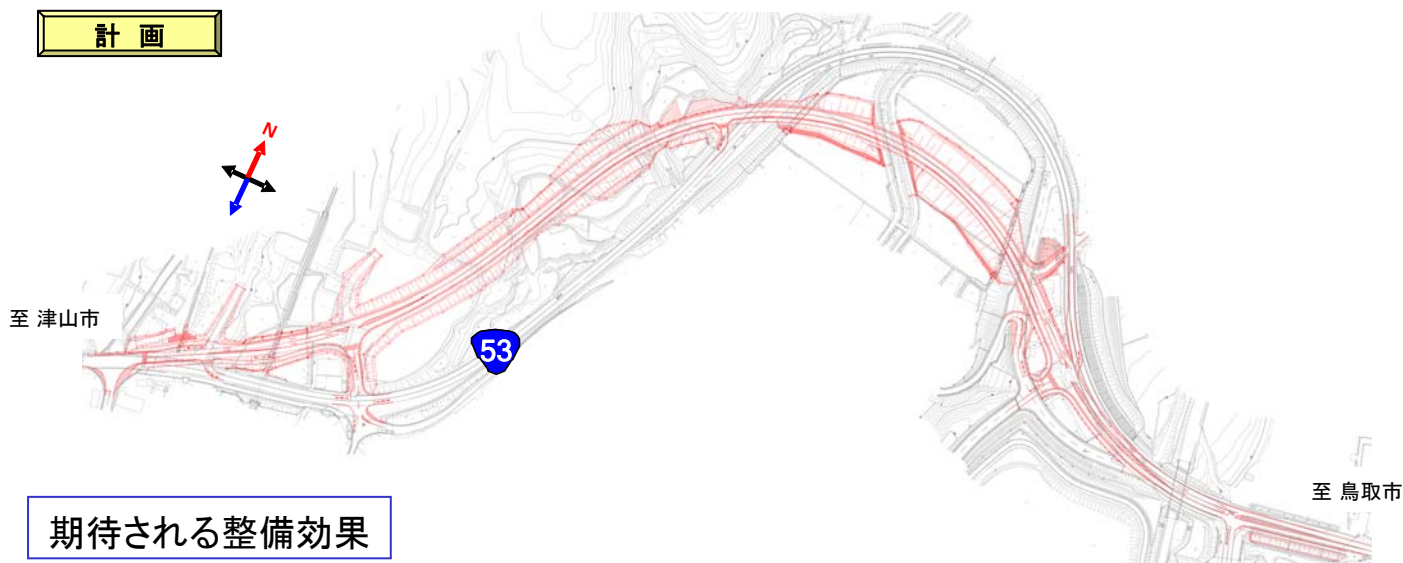
現況写真



国道53号岡山県勝田郡奈義町上町川地内

鳥取市方面から津山市方面を望む

計画



期待される整備効果

- 歩道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。
- 視距改良により、追突事故を防止し、交通事故発生の低減を図ります。

さえきおさふね 主要地方道 佐伯長船線(岡山県・岡山市)

道-14

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

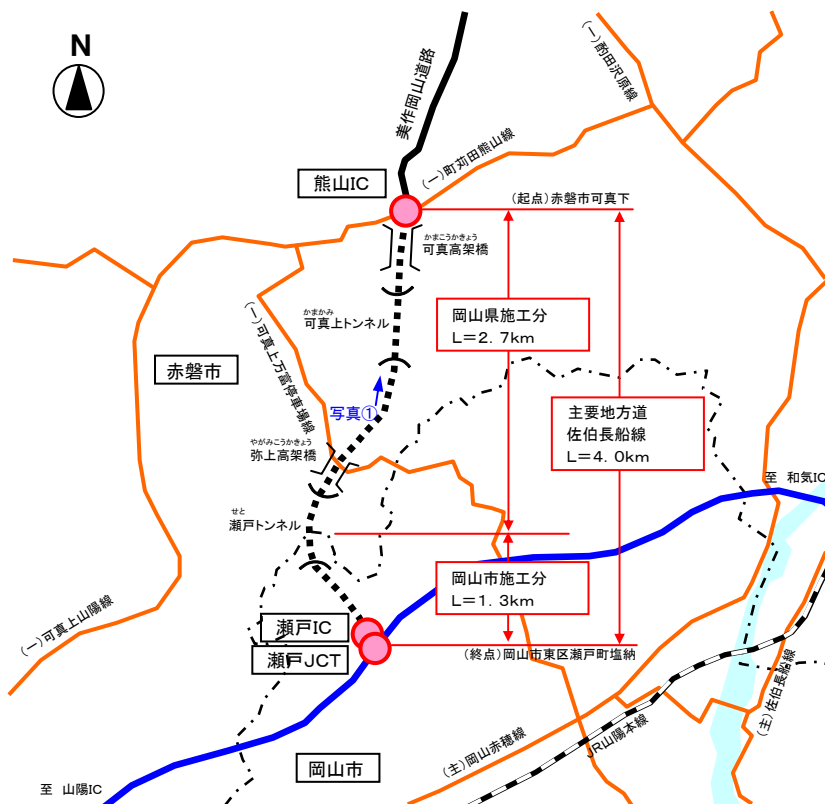
主要地方道佐伯長船線は、地域高規格道路「美作岡山道路」の一部として、中国縦貫自動車道・山陽自動車道と一体となって高規格道路網を形成する道路であり、美作圏域と岡山圏域の連携強化、沿道地域の活性化を目的とした、岡山市東区瀬戸町塩納から赤磐市可真下の延長約4.0kmの道路です。

平成24年度は、トンネル、改良工事などを実施し、事業の推進を図ります。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

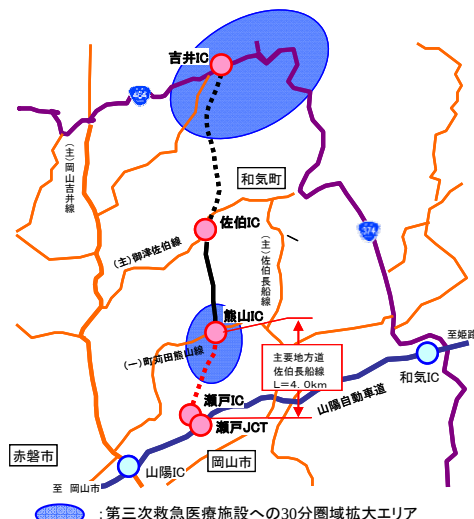
■美作圏域と岡山県域の連携強化



■第三次医療施設へのアクセス向上など、広域救急医療体制の確立支援

みまさかおかやまどうろ
美作岡山道路の沿線市町における、第三次医療施設へのアクセス30分圏域が約1割拡大します。

沿線に位置する赤磐市においては、人口カバー率が63%から71%に拡大します。



道-15

事業推進

位置図

事業箇所

鳥取県

岡山県

山口県

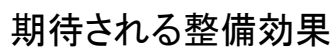
鳥根県

広島県

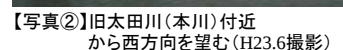
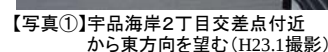
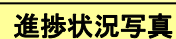
Uwajima-shi

Uwajima

平成25年度供用予定
延長2.6km
用地買収、改良、橋梁工事



一般国道2号広島南道路の整備により、約21分の時間短縮効果が見込まれる。



44

一般国道375号 東広島・呉道路

道-16

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

位置図



進捗状況写真



【写真①】馬木IC付近から南方向を望む (H23.6撮影)



【写真②】郷原高架橋付近から南方向を望む (H23.6撮影)

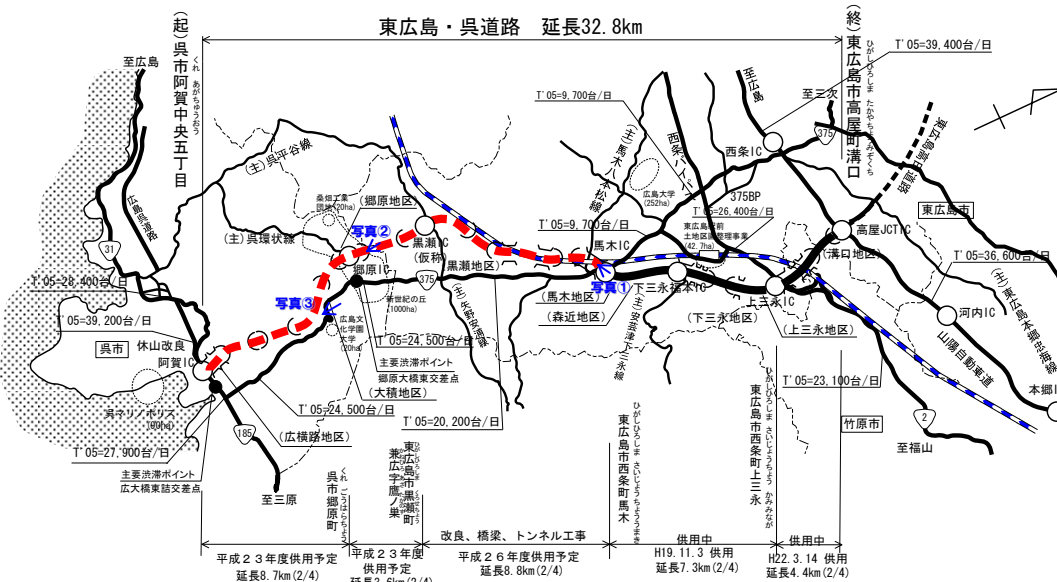


【写真③】小滝川橋付近から南方向を望む (H23.8撮影)

東広島・呉道路は、呉市から山陽自動車道へのアクセス強化を図ることを目的に計画された、呉市阿賀中央5丁目から東広島市高屋町溝口に至る延長32.8kmの自動車専用道路です。

平成21年度までに、馬木IC～高屋JCT・ICまでの延長11.7kmが供用しており、平成23年度には阿賀IC～黒瀬IC(仮称)までの延長12.3kmが供用する予定です。

平成24年度は、黒瀬IC(仮称)～馬木IC間において、改良、橋梁、トンネル工事を推進し、平成26年度の全線供用を目指します。



期待される整備効果

●産業団地と高速ICとの連絡強化

東広島・呉道路の全線供用により、東広島市・呉市の産業団地15箇所が新たに高速ICへの20分アクセスが可能となる。(新団地を含む)

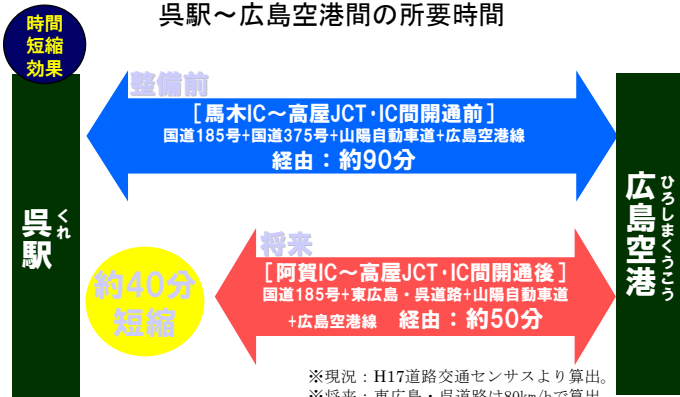


資料：H11・H17道路交通センサス
※現況は「ひろしまの道づくり」によるH15実績。東広島・呉道路整備後は新規産業団地（H19現在）を加え、H17道路交通センサス旅行速度で算出。

●所要時間の短縮

国道375号の呉市から東広島市間では、著しい交通渋滞が発生しています。東広島・呉道路の整備により、交通渋滞の緩和が期待されます。また、交通渋滞の緩和により、所要時間の短縮も期待されます。

呉駅～広島空港間の所要時間



おおばん 一般国道54号 大伴歩道整備

道-17

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

三次市布野町に位置する当該区間は、近傍に布野小学校、布野中学校が立地しており、通学路に指定されていますが、歩道幅員が狭く、また冬期の降雪に伴う除雪作業で車道の雪が路肩及び歩道上によせられ、歩行者は車道を歩くことになり、非常に危険な状況です。

平成24年度は、安全・安心な歩行空間を確保するため、歩道整備工事を推進し、完成を目指します。



位置図



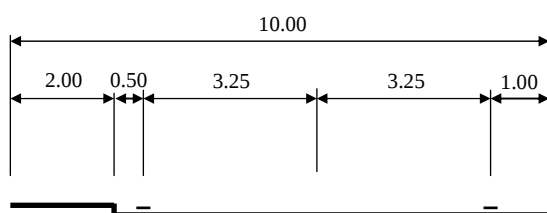
現況写真

国道54号広島県三次市布野町地内



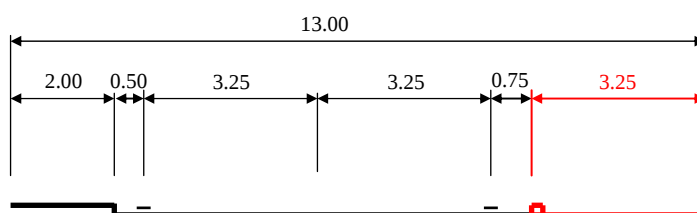
松江市方面から広島市方面を望む

現況



計画

(単位:m)



歩道新設

期待される整備効果

- 歩道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

一般国道2号 皆実電線共同溝

道-18

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

完成予定

当該事業箇所は、広島県三原市城町～皆実に位置しており、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上を目的として、既設電線類を地中化する電線共同溝事業です。

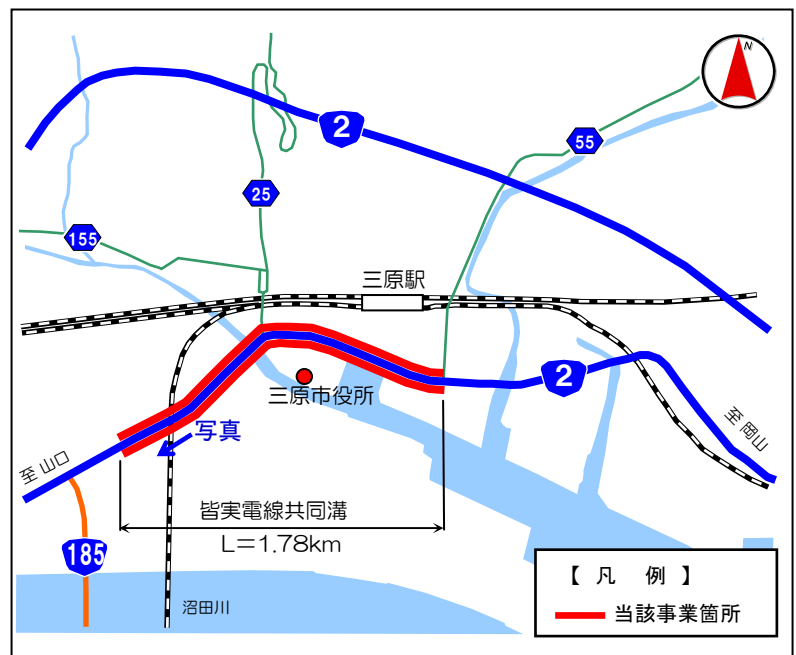
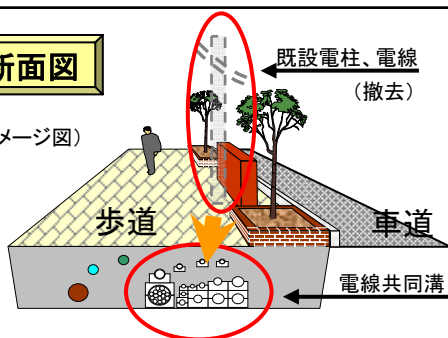
平成24年度は、本体工事及び美装化工事を推進し、完成を目指します。

位置図



断面図

(イメージ図)



現道状況



【整備前】



【整備後(イメージ)】

期待される整備効果

- 安全で快適な通行空間の確保
- 都市災害の防止
- 都市景観の向上
- 情報ネットワークの信頼性向上

やない 一般国道188号 柳井バイパス

道-19

●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

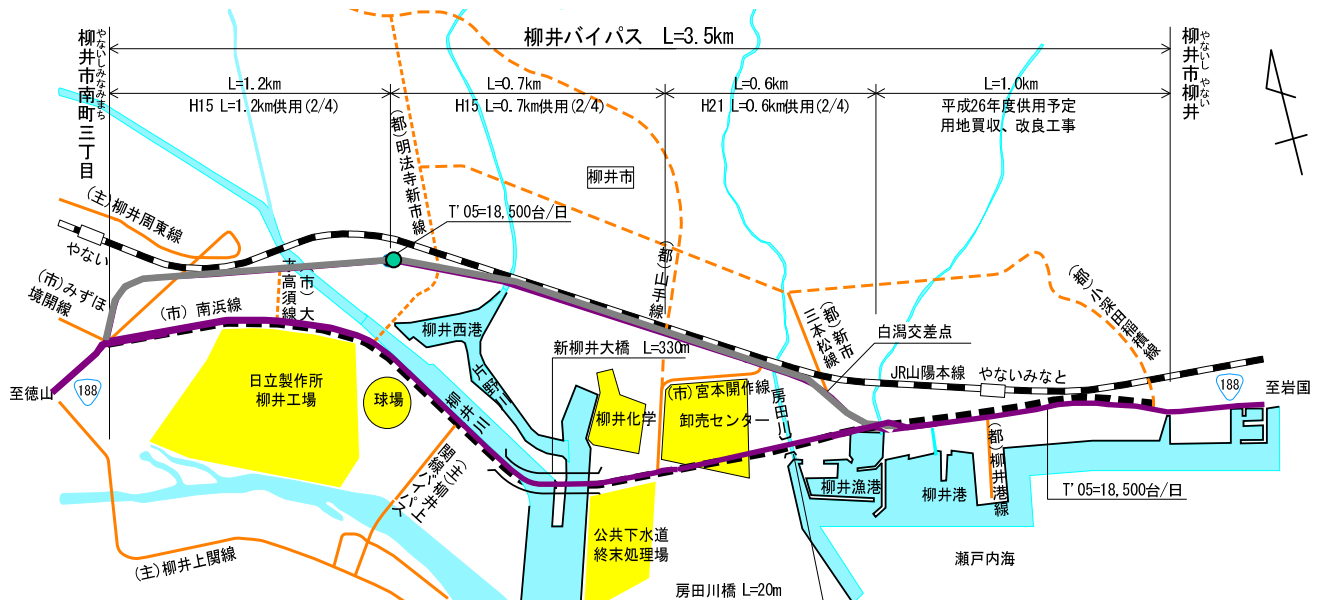
事業推進

位置図



一般国道188号柳井バイパスは、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、柳井市柳井から柳井市南町3丁目に至る延長3.5kmの道路です。これまでに、柳井市柳井から柳井市南町3丁目のバイパス区間延長2.5km(2/4車線)区間が供用しています。

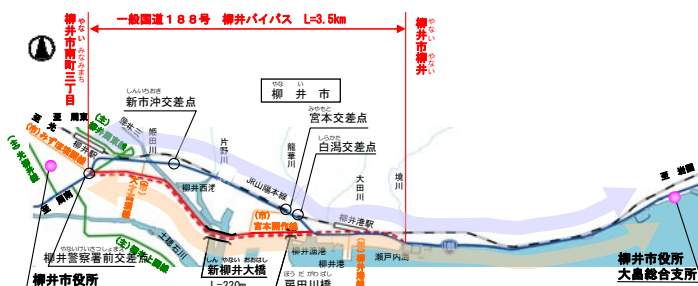
平成24年度は、用地買収を推進するとともに現道拡幅部の改良工事に着手し、平成26年度の供用を目指します。



期待される整備効果

効果1)『移動にかかる所要時間が大幅に短縮』

平成17年に合併した旧大島町(現大島総合支所)～柳井市中心部(柳井市役所)までの所要時間がピーク時で約4分短縮されます。



■柳井市役所～大島総合支所間の所要時間

整備前	約15分
将来	約11分
	約4分短縮

※既供用区間はH17センサス混雑時旅行速度、未供用区間は設計速度(60km/h)を用いて算出
※資料:国土交通省 山口河川国道事務所

効果2)『交通安全の確保』

現道拡幅区間において、歩道未設置区間の解消を行います。



■国道188号現道区間の歩道未設置箇所の状況

しものせききた 一般国道191号 下関北バイパス

道-20

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

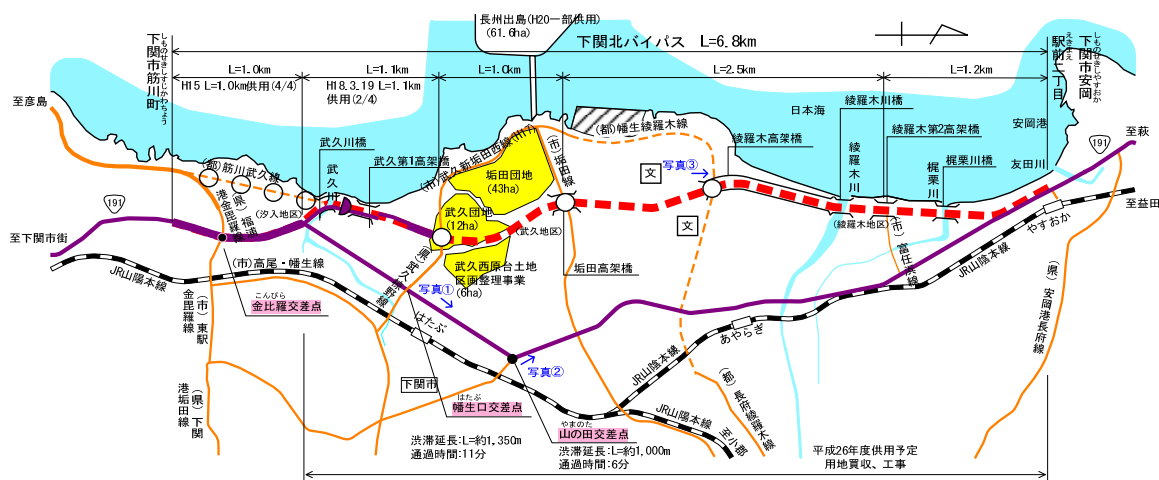
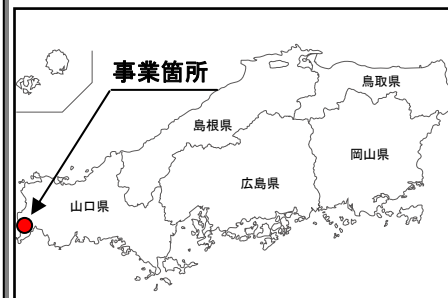
事業推進

しものせききた
一般国道191号下関北バイパスは、一般国道191号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、下関市筋川町から下関市安岡駅前二丁目に至る延長6.8kmの道路です。

しものせき すじかわちよう たけひさむくの
平成17年度までに、起点部(下関市筋川町)から(県)武久棕野線までの2.1kmが供用しています。

平成24年度は、用地買収及び工事を推進し、平成26年度の全線供用を目指します。

位置図



現道状況



写真①交通混雑状況(幡生口交差点)

現道状況



写真②交通混雑状況(山の田交差点)

進捗状況写真



写真③工事施工状況(綾羅木地区)H23.5

期待される整備効果

効果)『交通渋滞の緩和』

下関北バイパスの整備により、国道191号における交通渋滞の緩和、走向速度の向上が期待されます。

効果)『所要時間の短縮』

下関北バイパスの整備により、主要交通拠点へのアクセスが向上し、中国縦貫自動車道下関ICから川棚温泉までの所要時間がピーク時で約10分短縮されます。

【現状】 約47分

国道191号を経由した所要時間

【供用後】 約37分

下関北バイパスを経由した所要時間

約10分短縮

川棚温泉

現況: H17道路交通センサス休日混雑時旅行速度、H21渋滞長調査結果の通過時間
整備後: H17道路交通センサス休日混雑時旅行速度、下関北バイパスは60km/h、(県)武久棕野線は50km/h

一般国道191号 仙崎自転車歩行者道整備

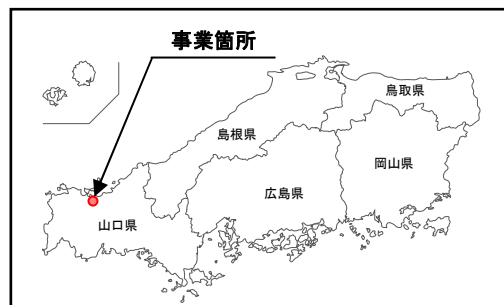
道-21

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

長門市仙崎に位置する当該区間は、近傍に仙崎小学校、仙崎中学校、長門総合病院が立地しており、通学路に指定されていますが、両側とも歩道がなく非常に危険な状況です。

平成24年度は、安全・安心な歩行空間の確保のため、自転車歩行者道整備工事を推進し、完成を目指します。



位置図

現況写真



国道191号山口県長門市仙崎地内

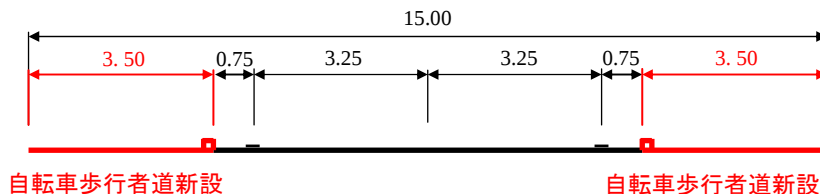
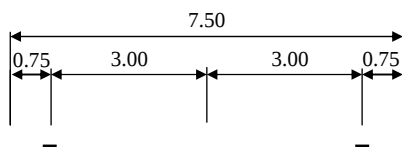


益田市方面から下関市方面を望む

現況

計画

(単位:m)



自転車歩行者道新設

自転車歩行者道新設

期待される整備効果

- ・ 自転車歩行者道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

一般県道 妻崎開作小野田線(山口県)

道-22

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

事業推進

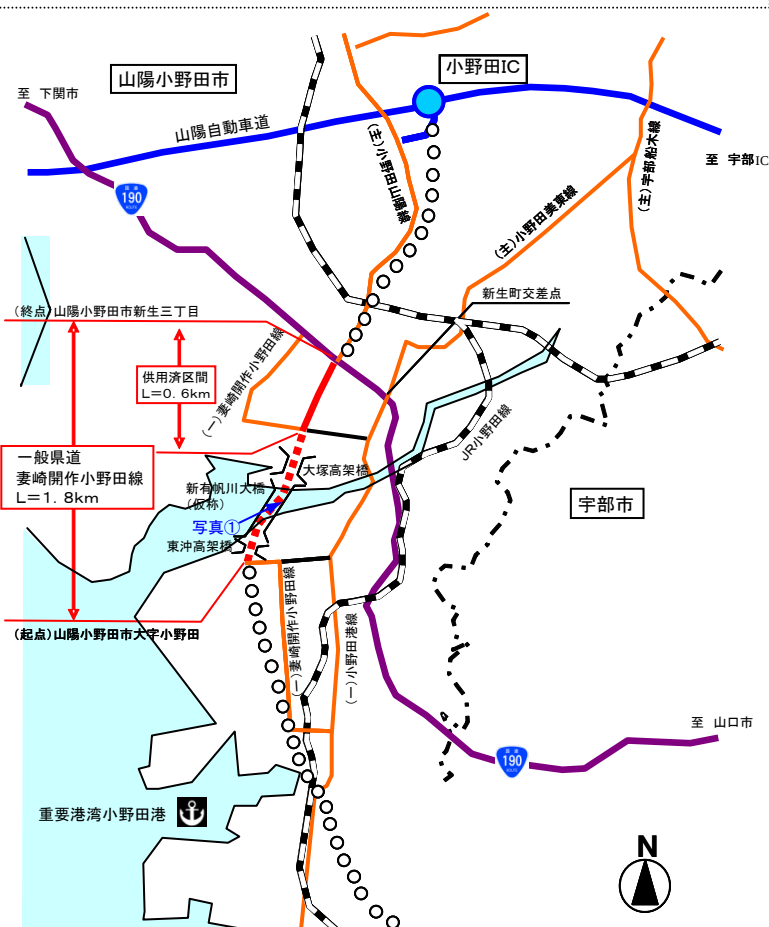
一般県道妻崎開作小野田線は、地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」の一部を構成し、山陽小野田市大字小野田から同市新生三丁目間の延長約1.8kmが整備区間として事業中であり、市街地の慢性的な渋滞緩和、小野田臨港地区から山陽自動車道小野田ICへのアクセス強化による臨海工業団地等の産業振興を目的とした道路です。

平成24年度は橋梁工事を実施し、事業の推進を図ります。

位置図



進捗状況写真



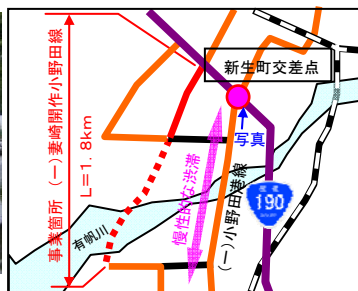
期待される整備効果

■慢性的な交通渋滞の緩和

本箇所に平行する一般県道小野田港線の混雑箇所(新生町交差点:夕方ピーク時渋滞長400m)をバイパス回避することで、定時性を確保します。



新生町交差点渋滞状況



■臨海工業団地等の産業振興

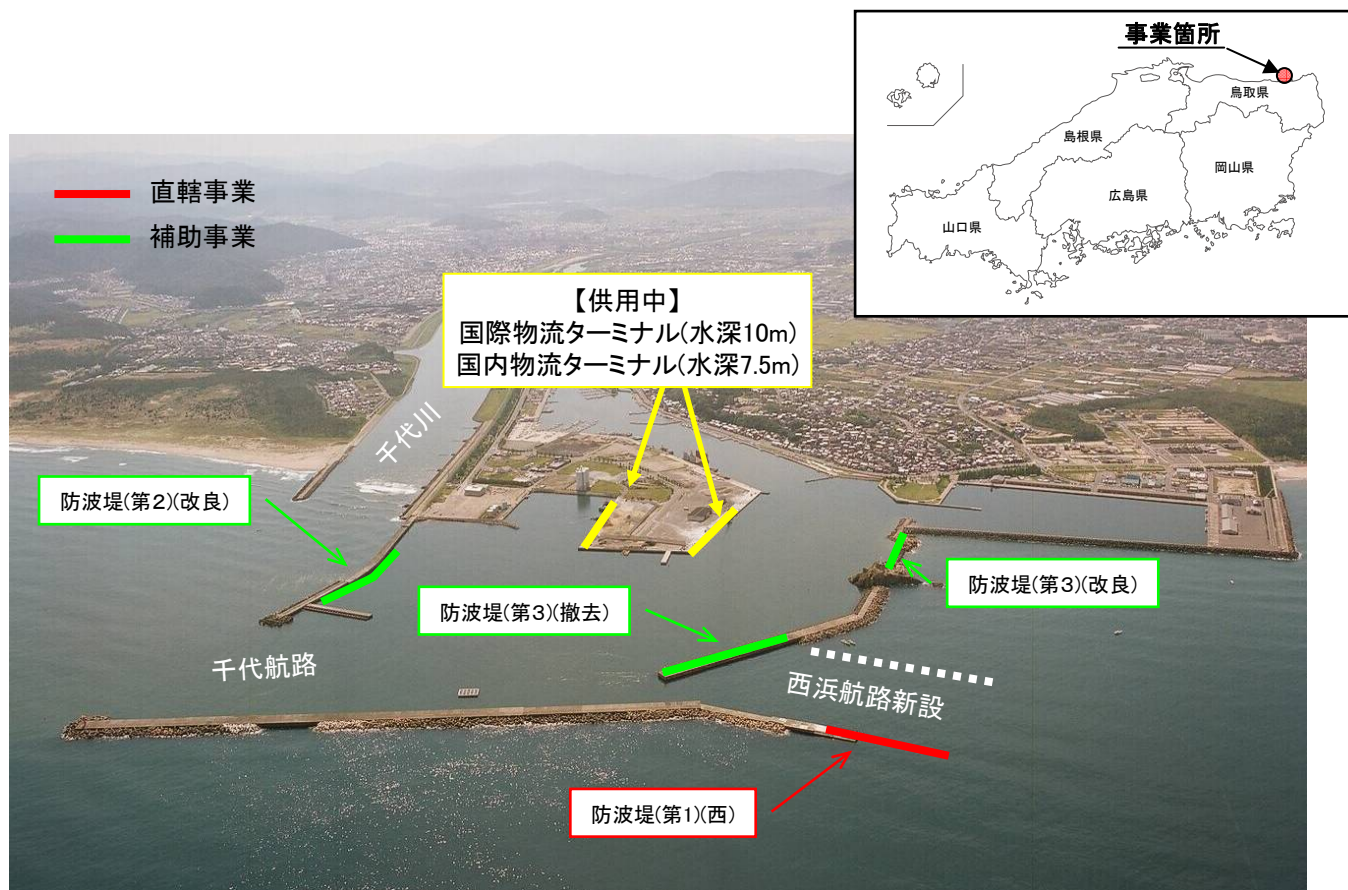


事業推進

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路は、冬期風浪や台風等により港口付近で波のじょう乱が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

このため、新たな西浜航路の新設に伴う防波堤の整備を推進しています。



期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた岸壁荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

新規着手

山陰地方の中央に位置する境港は、背後に国内有数の製紙、木材加工、鉄鋼等企业が立地し、工業製品の生産に必要な輸入貨物、またその製品の輸出貨物を多く取り扱っています。

また、利用企業の生産拡大や、平成23年1月の山陰初となるリサイクルポートの指定、対岸の韓国、ロシアへのトライアル輸送の成功等、今後の環日本海交流の発展を期待した電子部品、電気自動車工場等の新たな企業進出が相次いでおり、多様な貨物の増加が見込まれています。

しかしながら、貨物量の増加や船舶大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化しており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

そのため、3万トン級の大型船に対応した水深12mの岸壁等からなる国際物流ターミナルを整備し、併せて既存ふ頭の再編を行い、境港全体の機能強化を図るものです。



期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の競争力強化、雇用の確保等に寄与します。

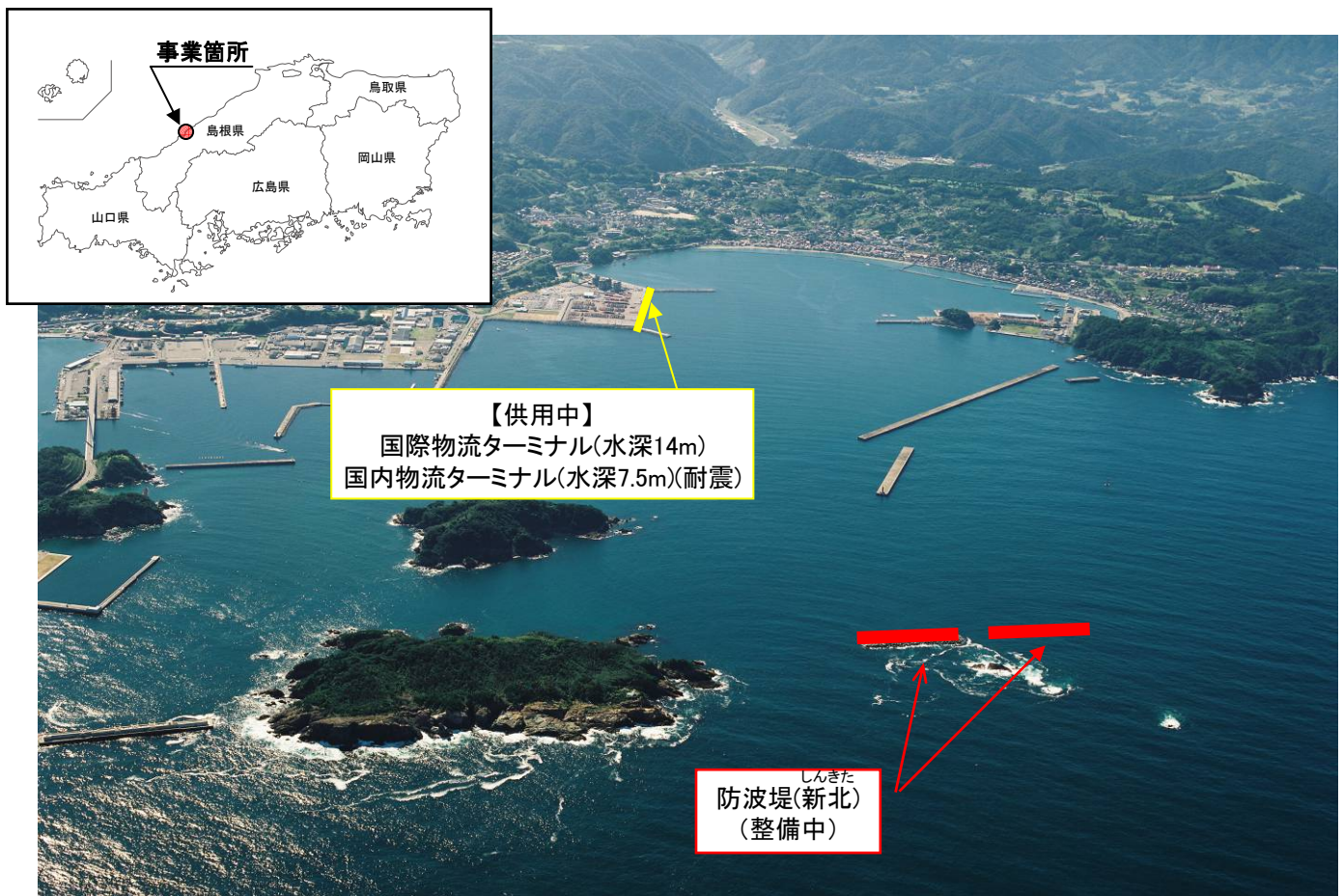
また、日本海側の物流機能が強化されることで、大規模地震等の被災リスクの高い瀬戸内・太平洋側地域のリダンダンシーの確保、粘り強い国土軸の形成に寄与することが期待されます。

事業推進

- 競争力のある地域経済社会の再構築
 - 東アジア等との競争力・連携による国際競争力の強化
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
 - 陸上及び海上における交通安全の向上

浜田港は、島根県西部に位置し、セメント、原木、完成自動車等を取扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしていますが、冬期風浪等の影響により、安全かつ効率的な荷役作業に支障が生じています。

このため、福井地区において防波堤の整備を推進しています。



期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じて安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性向上に寄与します。

事業推進

●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

○国内交通ネットワークの強化

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

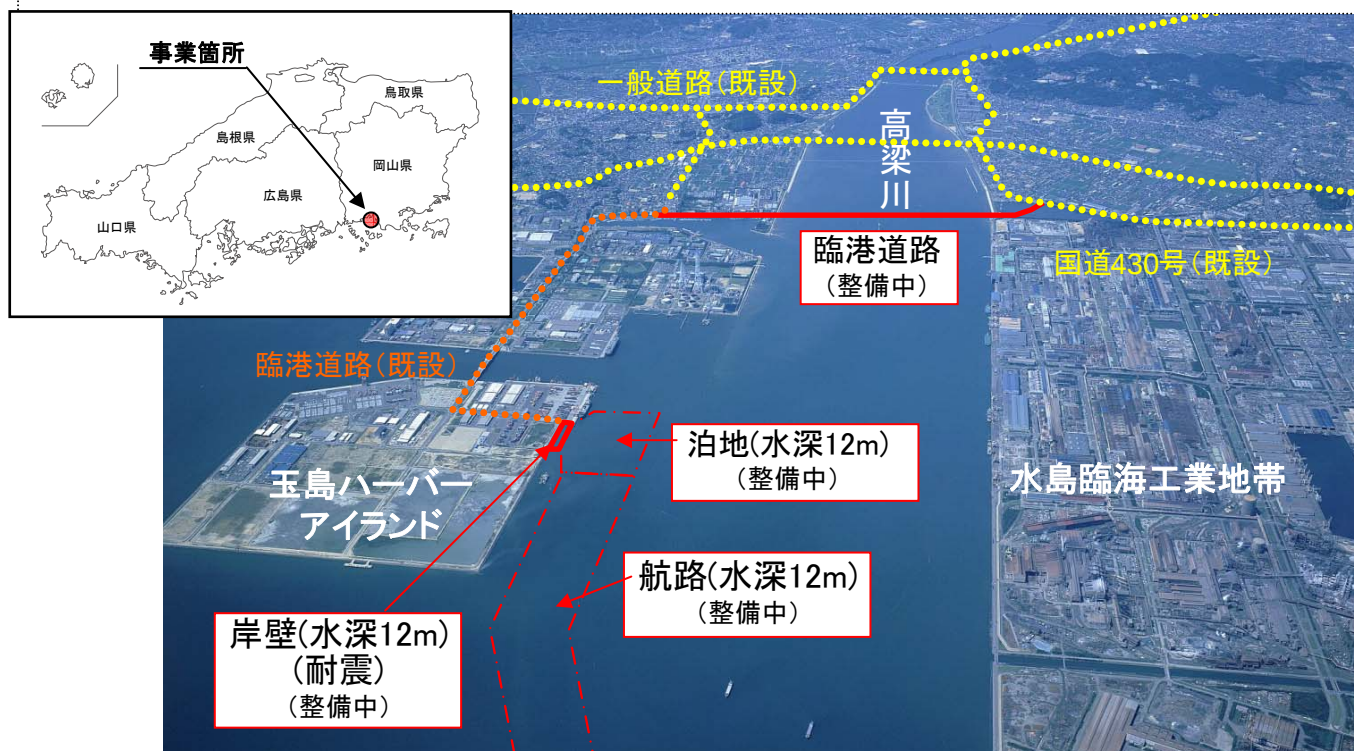
○災害の防止・軽減

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、中・四国第1位の取扱貨物量を誇る港湾です。平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（穀物）に選定されるなど、更なる発展が期待されています。

たましま

しかし、生産拠点である水島地区と物流拠点である玉島地区間の港湾貨物輸送の円滑化や玉島地区における国際コンテナ貨物の増加、船舶大型化、大規模地震への対応といった港湾機能の強化を図ることが喫緊の課題となっています。

このため、両地区を結ぶ臨港道路と、国際物流ターミナル（水深12m、耐震）の整備を推進しています。



期待される整備効果

本事業により、物流コストが削減されるので、産業競争力の強化が図られ、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模災害に対する地域の災害対応力の強化及びリダンダンシーの確保を通じた粘り強い国土軸の形成に寄与します。

新規着手

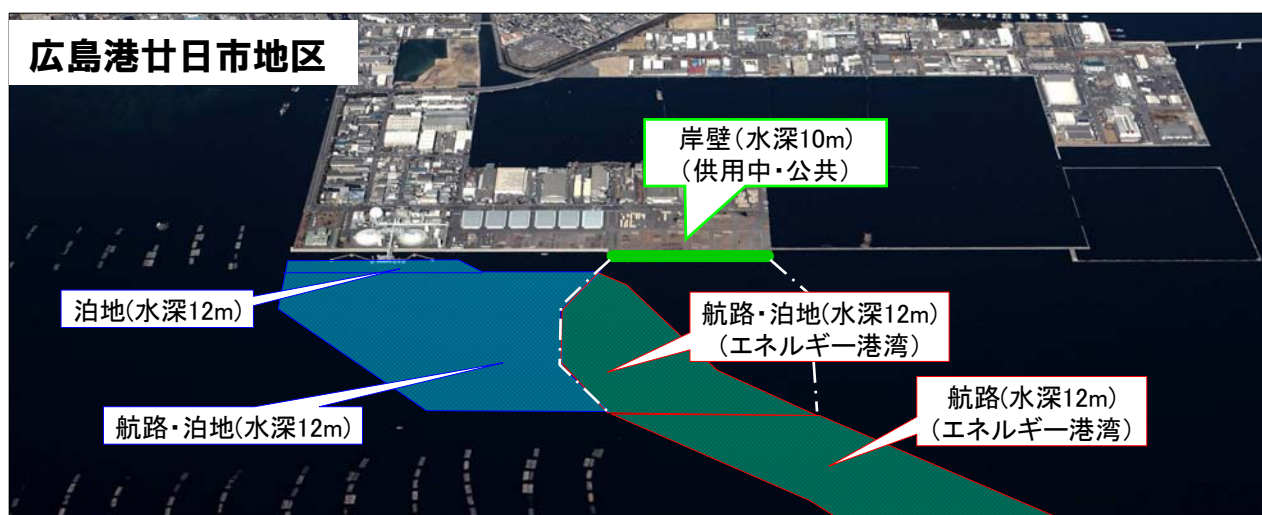
●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

広島港最西部に位置する廿日市地区^{はつか いち}は、広島港における輸入貨物の約5割を占めるLNG（都市ガスの主原料となる液化天然ガス）約80万トンを取り扱っており、各種製造業のエネルギー源として必要となるLNGの一大輸入拠点となっています。

一方、広島港の施設は水深の制約により世界標準の大型船が接岸できず、小型船による割高な輸送となっています。

そのため、安定的かつ安価なエネルギー供給による各種製造業の競争力の確保を図るため、官民の連携により大型船に対応した水深12mの航路・泊地の整備に着手します。



期待される整備効果

本事業により、LNGの安定的かつ安価な供給が図られ、LNGを利用する各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

本事業を契機とした利用再編等を通じ、広島港の更なる高度利用に資することが期待されます。

事業推進

●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

尾道糸崎港は、主に輸入原木を取扱う船舶の大型化への対応や、港内での筏輸送で生じる木皮流出による環境悪化への対応が、地域産業の競争力を確保する上で課題となっています。

このため、大型船による効率的な輸送に対応する国際物流ターミナル(水深12m等)の整備を推進しています。併せて、発生する浚渫土砂を有効活用して、干潟の造成にも取り組んでいます。



【原木水面投下状況】



期待される整備効果

本事業により、木材運搬船の大型化への対応が可能となり、海上輸送の効率化による地域産業の競争力向上や雇用の確保及び港内環境の改善に寄与します。

併せて、干潟造成により、海域環境の保全に資することが期待されます。

事業推進

●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

徳山下松港の背後には基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（石炭）に宇部港とともに選定されるなど、更なる発展が期待されています。

しかし、大型船が使用可能な岸壁が不足していることから、立地企業の生産拡大と輸送船の大型化に対応した港湾機能の強化を進めることが喫緊の課題となっています。

このため、新南陽地区において、国際物流ターミナル（水深12m）の整備を推進しています。併せて、発生する浚渫土砂を活用して、干潟の造成にも取り組んでいます。



期待される整備効果

本事業により、石炭等の原材料の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

併せて干潟造成により、海域環境の保全に資することが期待されます。

事業推進

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として、地域経済を支える重要な役割を担う港湾です。

しかし、主要な交通網となっている国道2号は慢性的な渋滞状態にあり、円滑な港湾物流に支障をきたしています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進しています。



期待される整備効果

本事業より、岩国港で取り扱う港湾貨物の陸上輸送コストが削減され、地域経済の発展に寄与します。

また、生活道路を通行していた港湾関連の大型車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待できます。

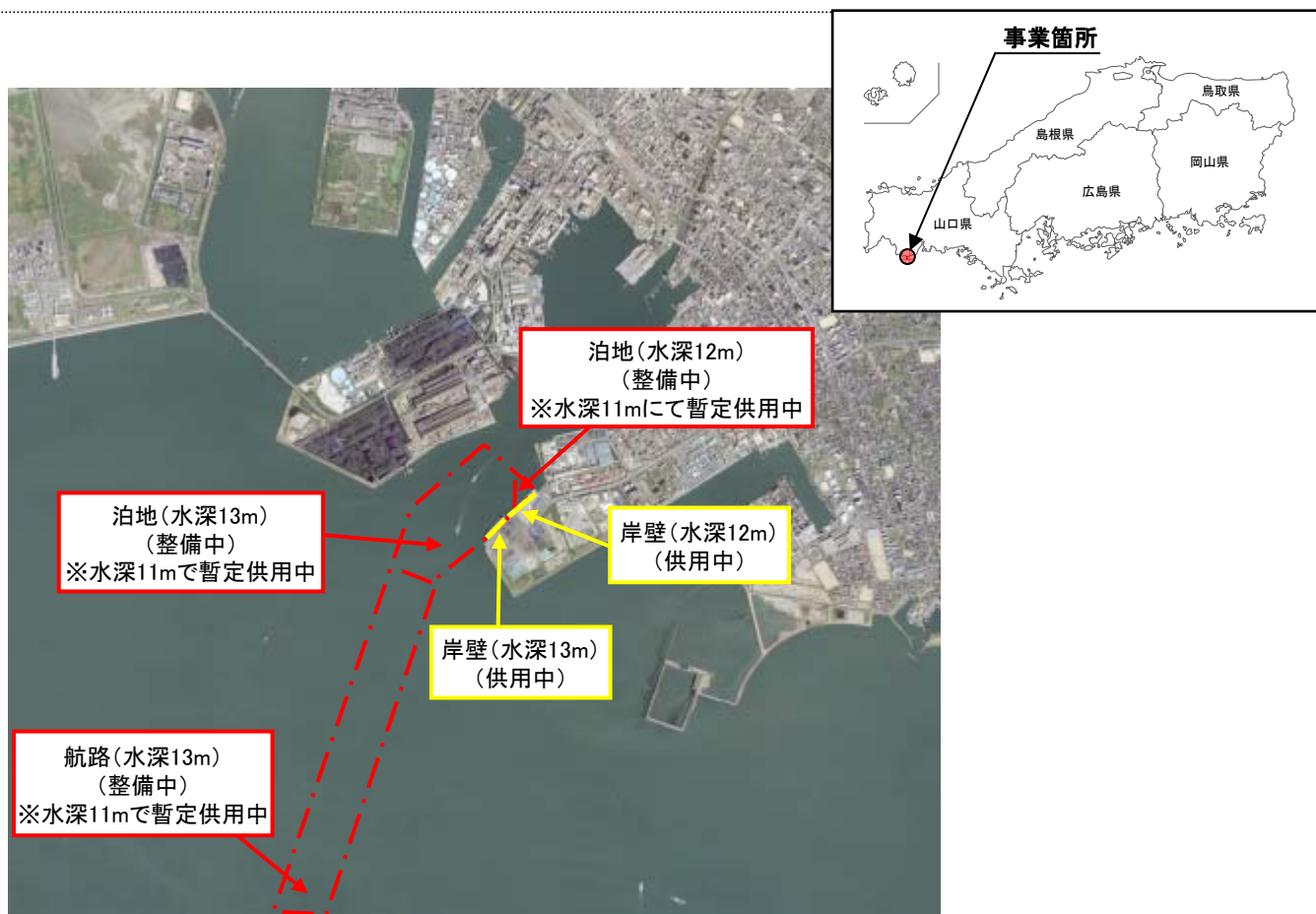
事業推進

- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定されるなど、更なる発展が期待されています。

しかし、航路・泊地が水深11mで暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路・泊地の整備を推進しています。



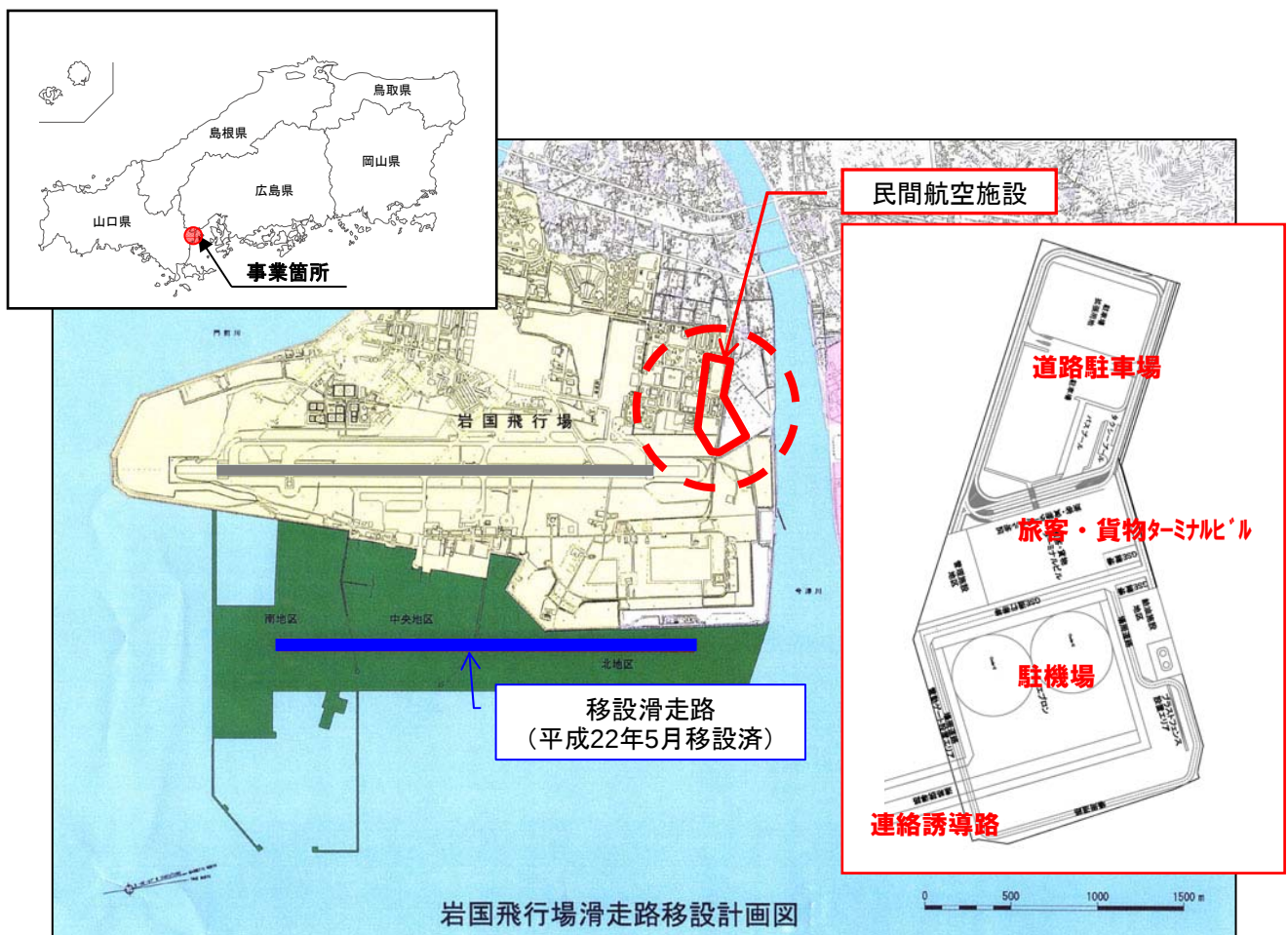
期待される整備効果

本事業により、大型貨物船による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

完成予定

- 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 広域観光の促進

岩国飛行場において、米軍再編措置に係る負担を担う地元要望に配慮し、地域の活性化を図るため、民間航空機の就航に必要なターミナル施設の整備（駐機場、民航連絡誘導路等）を推進します。



(防衛省資料(出典:防衛省HP)に加筆)

期待される整備効果

岩国飛行場での民間航空再開により、これまで鉄道や遠方の空港を利用していた方々の移動時間の短縮等が図られます。また、広域観光需要の拡大等に資することが期待されます。

呉地方合同庁舎の整備

営-1

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止

完成予定

呉地方合同庁舎は、呉市内に散在する耐震性能が確保されていない官署や老朽・狭隘化が進んでいる官署を集約・合同化することにより、施設利用者の利便性向上と業務効率化を図りつつ、防災機能を十分発揮できる拠点施設として、平成24年度に完成を目指します。



呉地方合同庁舎 完成予想パース

【整備概要】

■構造・規模

庁舎 鉄筋コンクリート造
地上6階建地下1階建
延べ面積 7,411㎡
立体駐車場 鉄骨造
地上3階建
延べ面積 2,311㎡

■入居官署

広島地方検察庁呉支部・区検察庁
広島法務局呉支局
中国財務局呉出張所
呉税務署
呉労働基準監督署

■整備予定年度

平成22～24年度

期待される整備効果

- 呉市内に散在する耐震性能が確保されていない官署や老朽・狭隘化が進んでいる官署を集約・合同化することにより、施設利用者の利便性向上と業務効率化を図りつつ、防災機能を十分発揮できる拠点施設となります。
- 障害の有無、年齢、性別、言語等にかかわらず多様な人々が利用しやすいように施設や生活環境をデザインする「ユニバーサルデザイン」の考え方の導入により、誰もが安心して暮らせる地域づくりに寄与する庁舎とします。
- 太陽光発電や高効率照明などの技術を採用するなど、環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）として整備することにより、地球温暖化対策の推進に寄与します。

●多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

○瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

海の再生を推進する「全国海の再生プロジェクト」の一環として、「森・川・海の健やかな繋がりを活かし、恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」を保全・再生し、次世代に継承する。」を目的に「広島湾再生プロジェクト」を関係省庁や自治体などが連携して推進します。

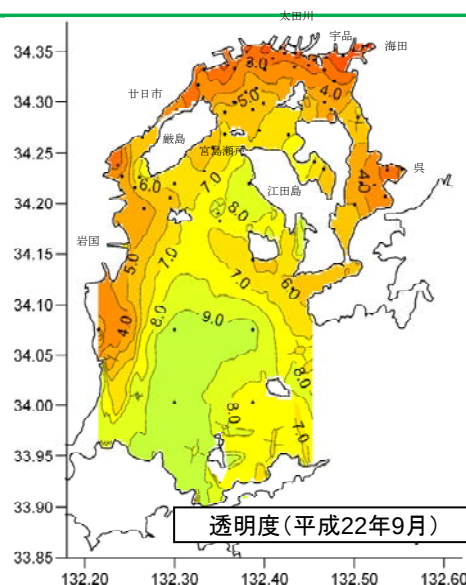
平成24年度も多様な主体の連携・協力のもと中間評価の結果を踏まえ、下水道整備、干潟・藻場の整備、環境学習及び海面の浮遊ゴミ清掃など推進します。

主な取組 広島湾水質一斉調査の実施

各機関が夏季に調査時期を統一した水質一斉調査を開始し、広域的な水質の状況を把握できるようになりました。



- △瀬戸内海総合水質調査(国土交通省中国地方整備局)・・・底層D0、透明度
- 環境保全調査(海上保安庁第六管区海上保安本部)・・・底層D0、透明度
- 浅海定線調査(広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター)・・・底層D0、透明度
- ★内海東部海域定点観測調査(山口県水産研究センター)・・・底層D0、透明度
- 公共用水域水質調査(広島県、山口県、広島市、呉市)・・・透明度
- △太田川水系水質調査(国土交通省中国地方整備局)・・・COD、窒素、リンなど(河川)



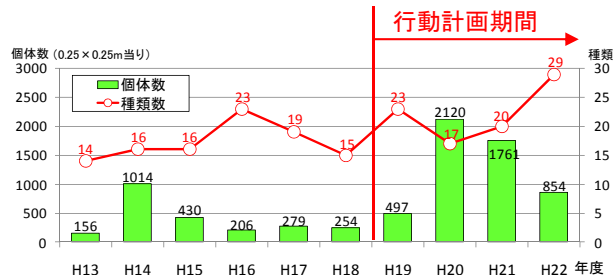
主な取組 干潟・藻場の保全

広島港五日市地区人工干潟の再生



生物の種類数、個体数

新たに整備した五日市地区人工干潟では、生物の種類数・個体数ともに増加しています。また、飛来する鳥類も増加しています。



広島港五日市地区人工干潟における底生生物の個体数、種類数の変化

広島港五日市地区人工干潟の造成によって、クロツラヘラサギなどの貴重な鳥類の飛来や、貴重な干潟生物の生息も見られるようになりました。

